

## 清朝の衰退①

・乾隆帝<sup>1</sup>：6代(1735-) 1757- 広州1港に貿易制限、公行を通じ朝貢貿易のみ認める。

1793 英王ジョージ3世の使節<sup>1</sup> が自由貿易を求め、拒否される。

・嘉慶帝<sup>1</sup>：7代(1795-) 1796- 白蓮教徒の乱：弥勒信仰の農民反乱。鄉勇<sup>さんききゅうこうとう</sup>が鎮圧。

1816 英使節<sup>2</sup> が自由貿易を要求。三跪九叩頭を拒否、追放される。

☆三角貿易：中国の<sup>3</sup> を英國へ、英の綿製品をインドへ、<sup>4</sup> を中国へ。

・道光帝<sup>1</sup>：8代(1820-) 33 英、東インド会社の商業活動停止⇒アヘン密輸も自由化。

39 欽差大臣<sup>5</sup> 、広州の英國商館のアヘンを没収⇒英議会は出兵を決定。

40-42 アヘン戦争：英艦隊が広州を攻撃⇒<sup>6</sup> が抵抗⇒英艦隊、南京を攻撃。

42<sup>7</sup> 条約：英との講和条約。①清朝⇒英：<sup>8</sup> 賠償金1800万両。

②5港開港：広州のほか廈門・福州・寧波<sup>9</sup> を開港。<sup>10</sup> を廃止。

43 虎門寨追加条約：英との不平等条約⇒米と<sup>11</sup> 条約、仏と<sup>12</sup> 条約。

①<sup>13</sup> 待遇：将来、第三国に認めた特権は自動的に締結国にも適用する。

②<sup>14</sup> 権：関税については締結国間で協議⇒清朝は関税自主権を失う。

③<sup>15</sup> 権：外国人の犯罪については外国領事が裁判権をもつ。治外法権。

⇒上海などの開港場には清朝の行政権が及ばない地域（<sup>16</sup>）を設置。

・咸豊帝<sup>1</sup>：9代(1850-) 貿易拡大による銀の高騰で農産物価格が下落し、農民は窮乏。

1851- 太平天国の乱：<sup>17</sup> の教祖<sup>18</sup> が広西省金田村で蜂起。

⇒<sup>19</sup> を唱えて北上。南京を占領、<sup>20</sup> と改称、首都に。

⇒<sup>21</sup> 制度（土地均分。実施できず）、<sup>22</sup> の廃止、纏足の禁止。

56-60 アロー戦争：アロー号事件、仏人宣教師殺害事件を口実に、英・仏が共同出兵。

58<sup>23</sup> 条約：清朝は批准を拒否。⇒英・仏軍が北京を占領、圓明園を破壊。

60<sup>24</sup> 条約：英・仏との講和条約。天津条約の再確認と追加条項。

①11港開港：天津条約の沿岸6港、長江流域4港に加え、北京に近い<sup>25</sup> を開港。

②清朝⇒英：<sup>26</sup> 南部（香港島の対岸）。賠償金 800万両。

③キリスト教布教の自由：雍正帝の禁教令(1723)を廃止⇒各地で<sup>27</sup> 運動。

④外国公使の北京駐在：清朝は<sup>28</sup> （外務省）を設置、対等外交。

・同治帝<sup>1</sup>：10代(61-) 幼少のため、母后<sup>29</sup> が摂政として実権。

☆鄉勇：地方官僚が集めた義勇軍。<sup>29</sup> の湘軍、<sup>30</sup> の淮軍。

☆常勝軍：欧米人指揮の義勇軍。上海の米人ウォード、英人<sup>31</sup> が組織。

1864 曾国藩、天京を攻略。太平天国滅亡⇒清朝は危機を脱する（同治中興）。

☆<sup>32</sup> 運動：西洋技術の導入による富国強兵。アロー戦争後の1860年代に開始。

①清朝の専制体制を守るために西洋の技術を導入する<sup>33</sup> の発想。

②漢人官僚の<sup>34</sup> •<sup>35</sup> 左宗棠<sup>さそうとう</sup>らが推進。

# 清朝の衰退・資料

## 歐州のウェストファリア体制



各国は対等な主権を持つ。

## 東アジアの冊封体制

### 東アジアの冊封体制



各国の王は中華皇帝の臣下として冊封され、朝貢を行う。

問 イギリスと清朝との貿易摩擦について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
乾隆帝　マカートニー　三角貿易



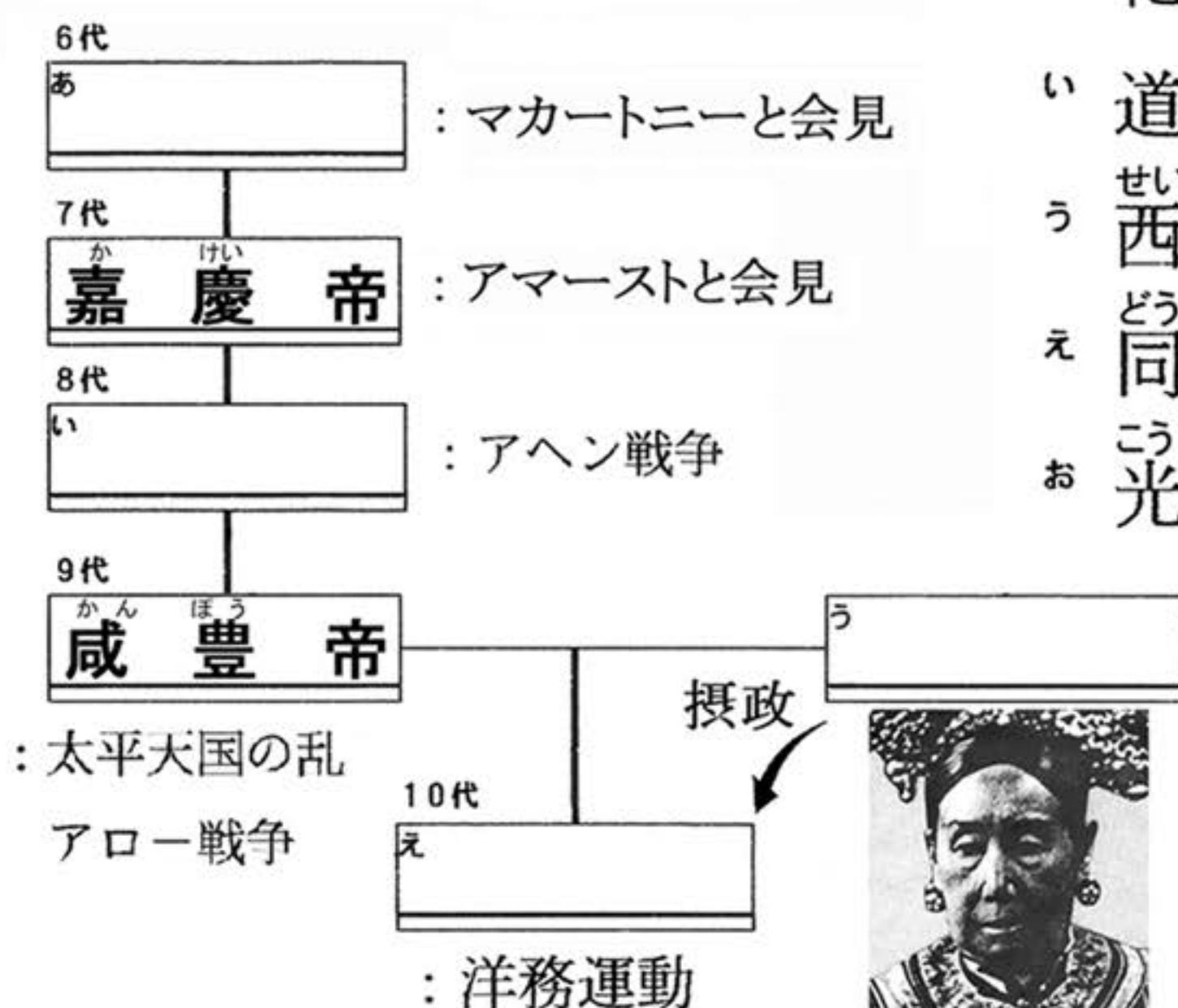
▲ ケシの実とアヘン



- ① \_\_\_\_\_  
② 機械製\_\_\_\_\_  
③ \_\_\_\_\_密輸

(解答) ① 茶 ② 縣製品(綿布) ③ アヘン

## 清朝(愛新覚羅氏)系図 ①



乾隆帝  
道光帝  
西太后  
同治帝  
光緒帝



乾隆帝と会見するマカートニー(1793)

乾隆帝のジョージ3世に対する勅諭(1793)  
天朝の物産は豊かで無いものはない。外國  
產品で不足を補う必要はない。天朝に産する  
茶、磁器、生糸は、西洋各国や汝の國の  
必需品であるから恩恵を与え、天朝の余沢  
に潤うことを認めている。然るに、汝の使節  
が慣例に反することを陳情することは、恩恵  
を遠人に加えて四夷を撫育する天朝の意に  
対し、無理解も甚だしい。

## 清朝の衰退①

- 1 マカートニー  
2 アマースト  
3 茶  
4 アヘン  
5 林則徐  
6 平英団  
7 南京  
8 香港
- 17 上帝会  
18 洪秀全  
19 滅満興漢  
20 天京  
21 天朝田畠  
22 弁髪(辯髪)  
23 天津  
24 北京  
25 九竜半島

- 9 シャンハイ  
10 公行  
11 望廈  
12 黄浦  
13 最惠国  
14 關稅協定  
15 領事裁判  
16 租界

- 26 仇教  
27 総理衙門  
28 西太后  
29 曾国藩  
30 李鴻章  
31 ゴードン  
32 洋務  
33 中体西用

## 清朝の衰退(2)

☆ロシアの侵略：クリミア戦争後、アレクサンドル2世の下で、

東シベリア総督<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ が推進。

58<sup>2</sup> 条約<sup>3</sup> : \_\_\_\_\_ (アムール川) 以北を獲得。

60<sup>4</sup> 条約<sup>5</sup> : \_\_\_\_\_ 以東の沿海州を獲得。

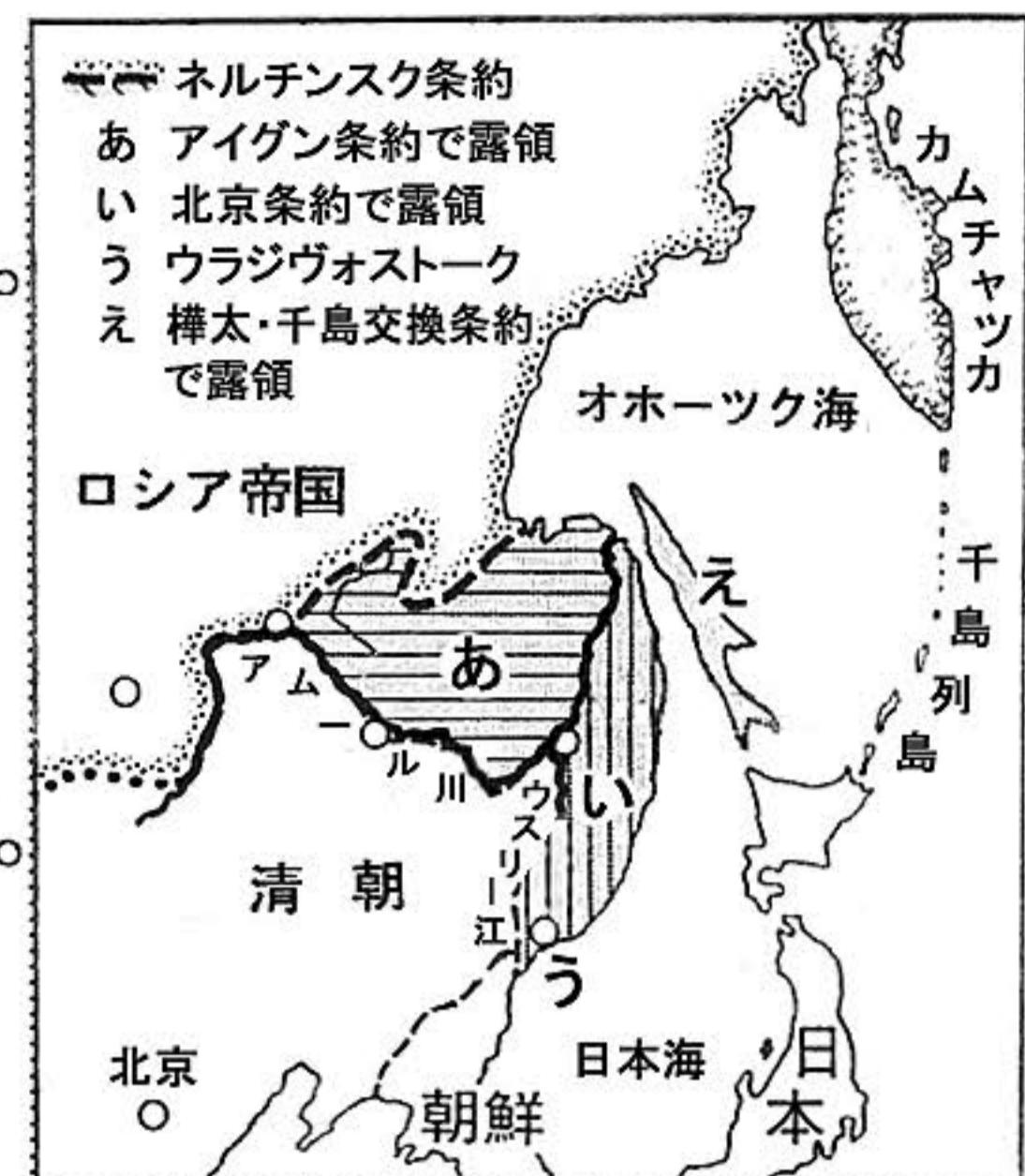
⇒ 沿海州南部に軍港<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ を建設(72)。

68- 日本、明治維新：江戸幕府崩壊、明治政府樹立。

75 樺太・千島交換条約<sup>7</sup> : \_\_\_\_\_ を露領、千島を日本領。

81<sup>8</sup> 条約<sup>9</sup> : 新疆のイスラム教徒が反乱 ⇒ 露が占領。

⇒ 英の介入。露は撤退、清朝は露に賠償金を支払う。



☆冊封体制の崩壊：清朝の藩属国である朝鮮・東南アジア諸国が列強の侵略を受ける。

84-85<sup>10</sup> 戦争：阮朝・ベトナムの宗主権をめぐる仏との戦争。清朝は大敗。

⇒<sup>11</sup> 条約(85)：清朝は宗主権を放棄。フランスのベトナム支配を承認。

94-95<sup>12</sup> 戦争：朝鮮支配をめぐる日本との戦争。黄海海戦で北洋艦隊が壊滅。

95<sup>13</sup> 条約：日本との講和条約。清朝全権：李鴻章、日本全権：伊藤博文。

①朝鮮の<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ : 清朝が宗主権を放棄。 (⇒ 97 朝鮮は大韓帝国と改称)

②清 ⇒ 日：<sup>15</sup> 半島・<sup>16</sup> 諸島。賠償金2億両。

95 三国干渉：露・仏・独の干渉により、日本は<sup>17</sup> 半島を清に返還。

☆列強の中国分割：日清戦争で清朝の弱体が暴露。

①露：<sup>18</sup> 鉄道、<sup>19</sup> \_\_\_\_\_ を租借。

東北地方を勢力圏にする。

②独：独人宣教師殺害事件を機に<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ を租借。

カントンを勢力圏に。

③仏：<sup>21</sup> \_\_\_\_\_ を租借。広東省など3省を勢力圏。

④英：<sup>22</sup> \_\_\_\_\_ 半島を租借。

24 長江流域を勢力圏とする。

⑤日：<sup>25</sup> \_\_\_\_\_ を勢力圏とする。

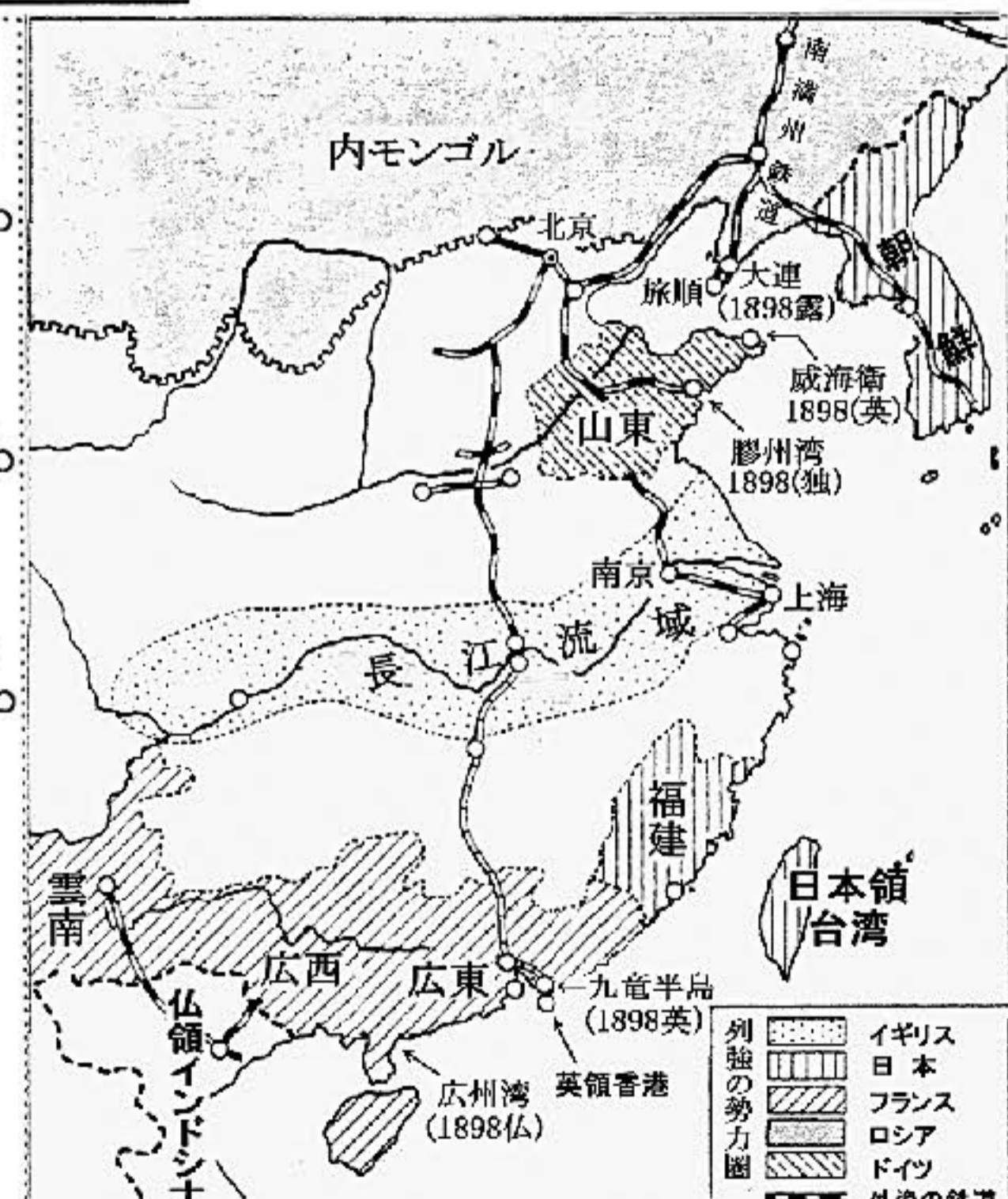
⑥米：分割に出遅れ、<sup>26</sup> \_\_\_\_\_ 宣言(1899)。

•<sup>27</sup> \_\_\_\_\_ : 11代。17歳で親政。公羊学派の<sup>28</sup> \_\_\_\_\_ らを登用。

98<sup>29</sup> 運動：明治維新に学び、立憲君主政を目指す政治改革。“百日維新”。

⇒<sup>30</sup> の政変：西太后・袁世凱ら守旧派によるクーデタ。改革は挫折。

康・梁ら変法派は日本へ亡命。光緒帝は生涯幽閉される。



# アヘン戦争関係地図

南京条約で開港

- A \_\_\_\_\_
- B \_\_\_\_\_
- C \_\_\_\_\_
- D \_\_\_\_\_
- E \_\_\_\_\_



## 南京条約(1842)

第2条 大清皇帝陛下は、英國臣民が家族・従者を伴い商業活動のため廣東、  
廈門、福州、寧波、上海に妨害や制約を受けずに居住できることに同意する。  
第3条 大清皇帝陛下は英國女王陛下に香港島を割譲する。

## 五口通商章程(1843.7月)

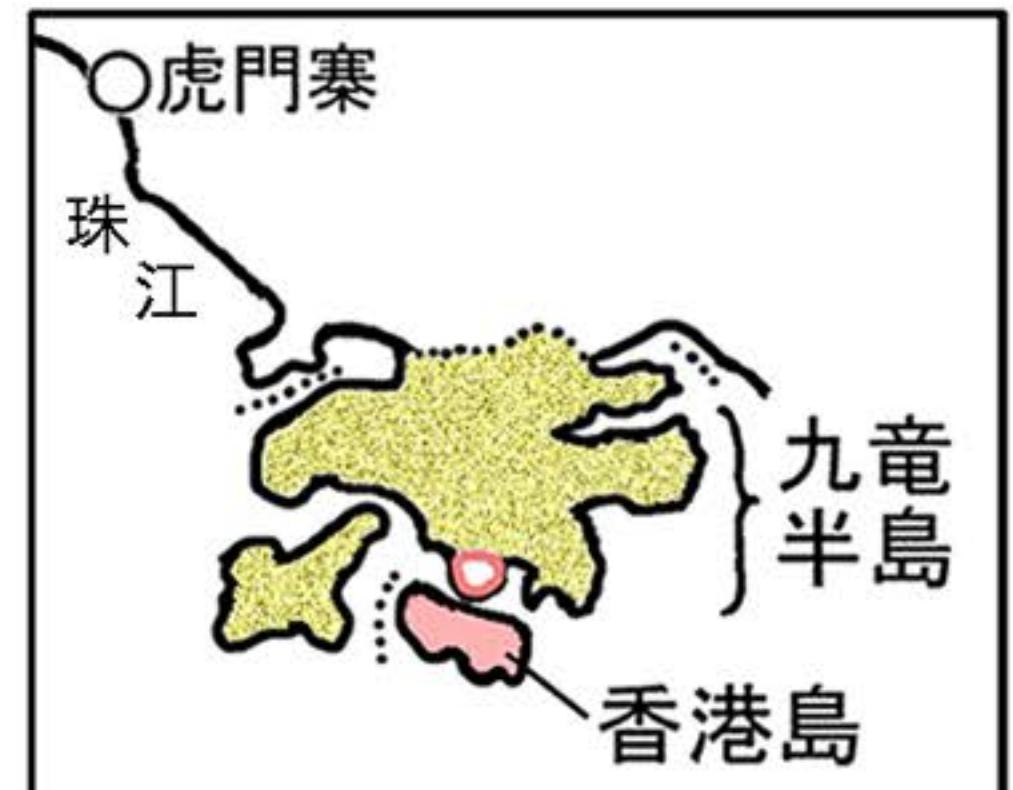
第1条 貨税は平均5%とし、関税については協定で定める(関税協定権)。  
虎門寨追加条約(1843.10月)…五口通商章程の内容も含む。  
第5条 英国人の犯罪は英國官吏が裁く(領事裁判権)。  
第6条 他国に対する新たな恩恵は、英國人にも同様に付与する(最恵国待遇)。

## 天津条約(1858)

第3条 大清皇帝陛下は英國女王陛下の任命せる大使・公使その他の外交官が  
首都に常駐し、または隨時、首都に往来し得ることを約する。

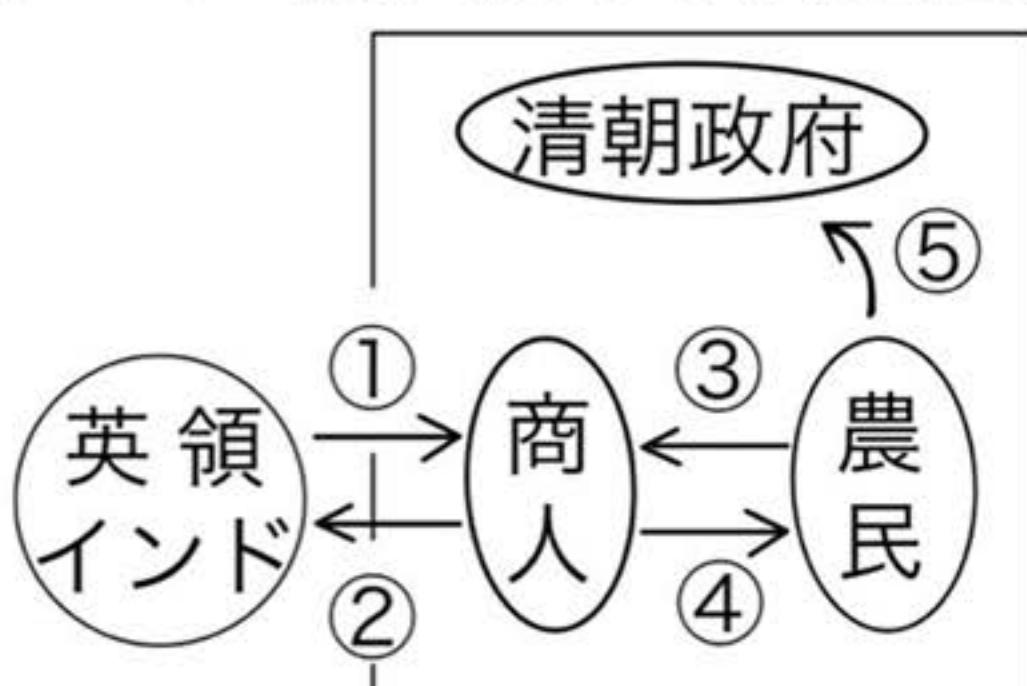
## 北京条約(1860)

第6条 大清皇帝陛下は、英國女王陛下に廣東省内九竜地方の一部を割譲する。



■ 南京条約で英領  
■ 北京条約で英領  
■ 英の租借地(99年間)

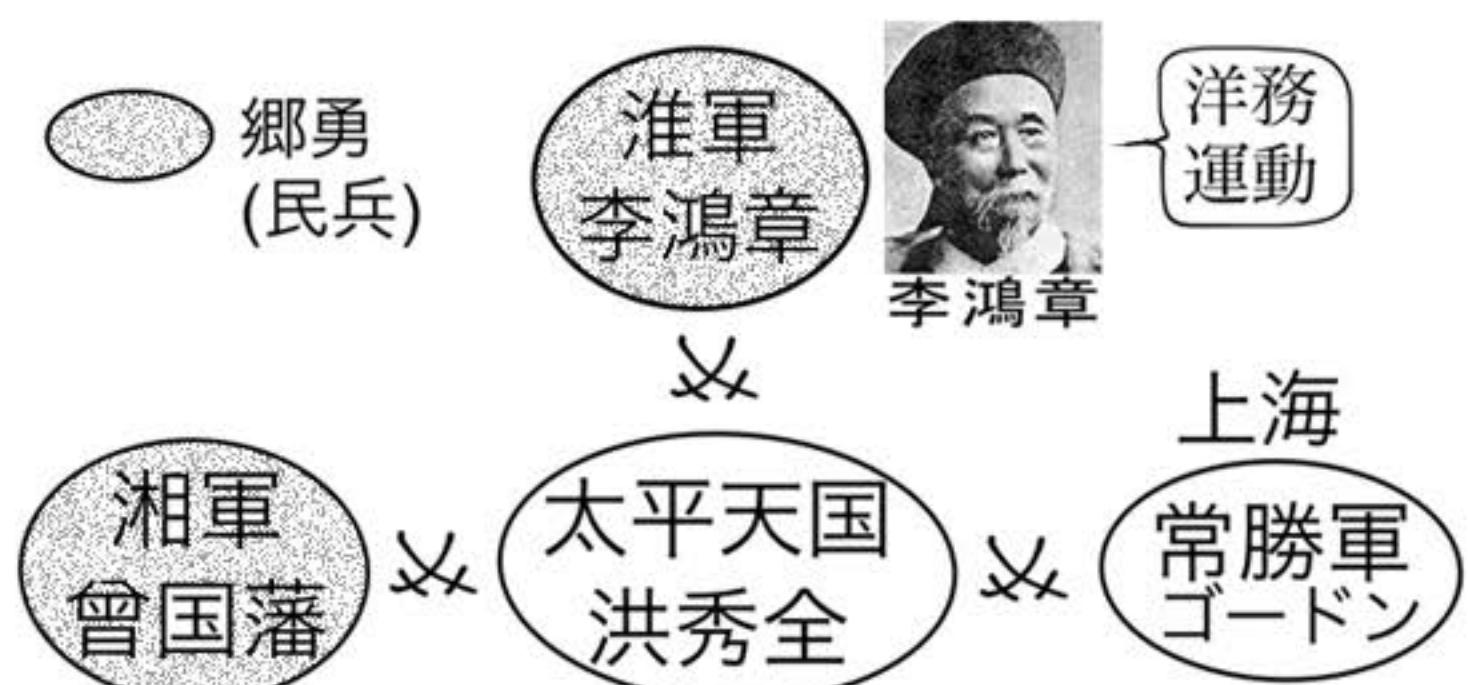
## アヘン戦争後の中国社会



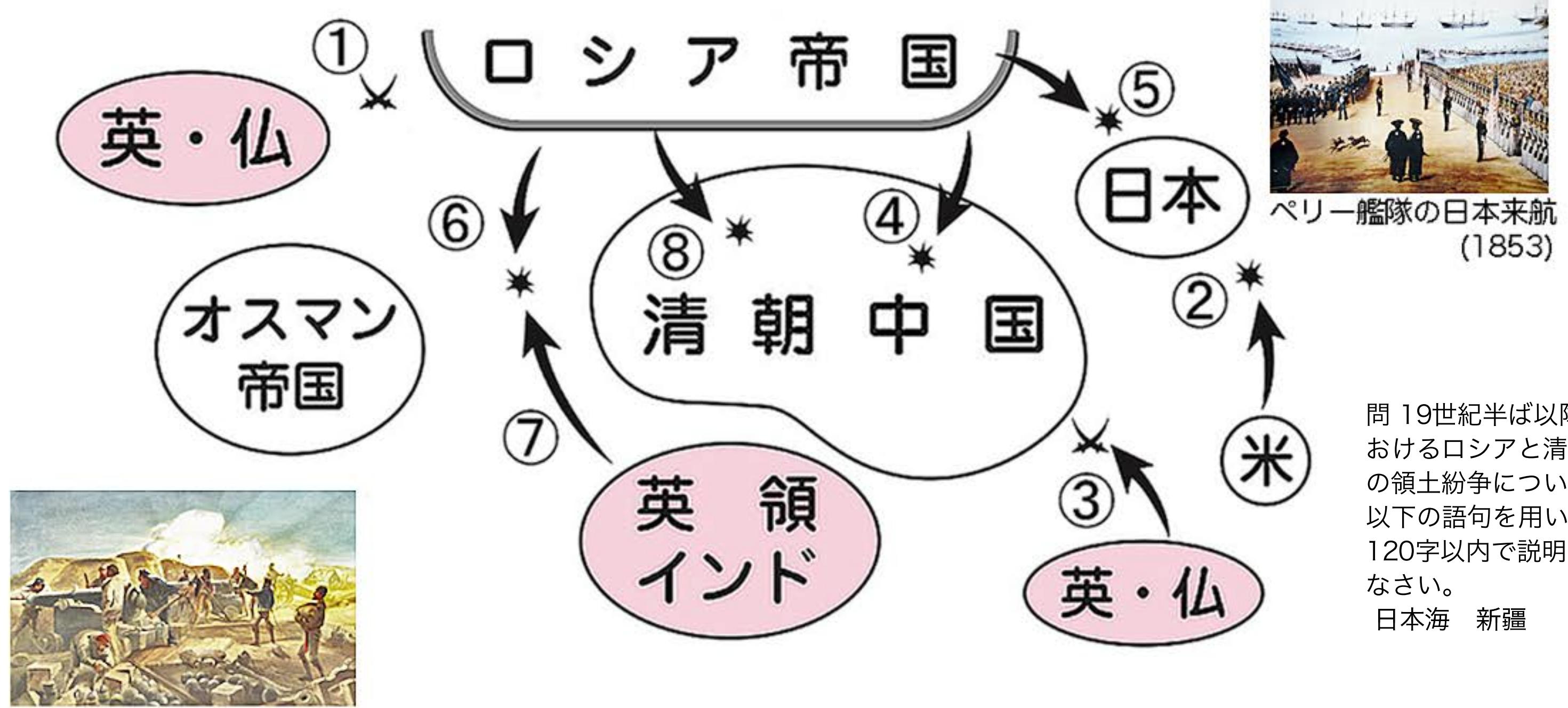
- ① アヘン流入止まらず
- ② 銀の流出(デフレ)
- ③ 農産物価格の下落
- ④ 代金(銀)は減少
- ⑤ 税を銀納(地丁銀制)  
⇒負担増。失地農民増大。  
・出稼ぎ労働者として海外へ  
(苦力/クーリー)  
・農民反乱(太平天国の乱)

問 アヘン戦争が清朝の社会に  
与えた影響について、以下の  
語句を用いて120字以内で説明  
しなさい。  
関税 地丁銀 洪秀全

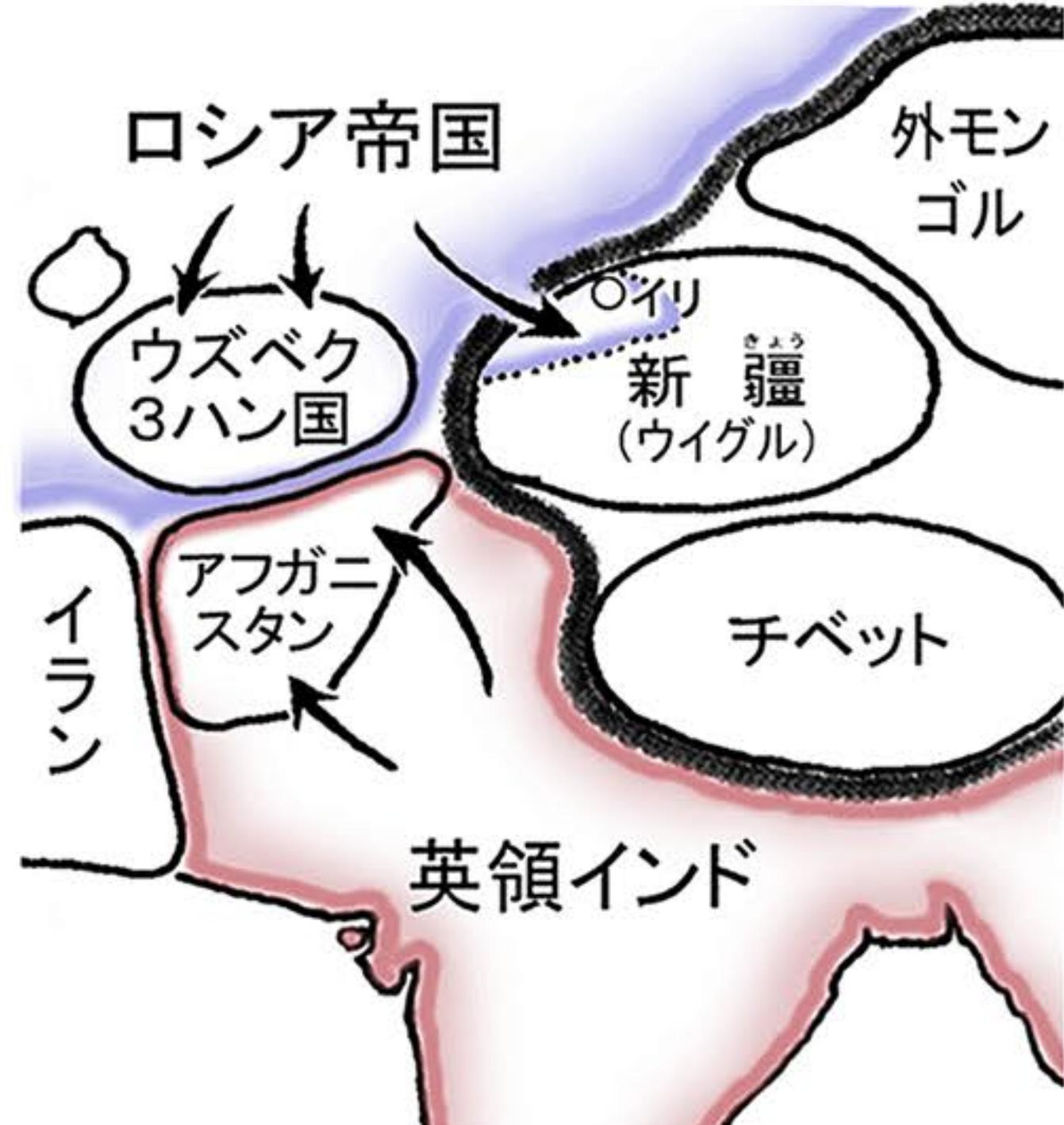
## 挙上帝会の思想



# 19世紀の英露対立 the Great Game



## ロシアの中央アジア侵略

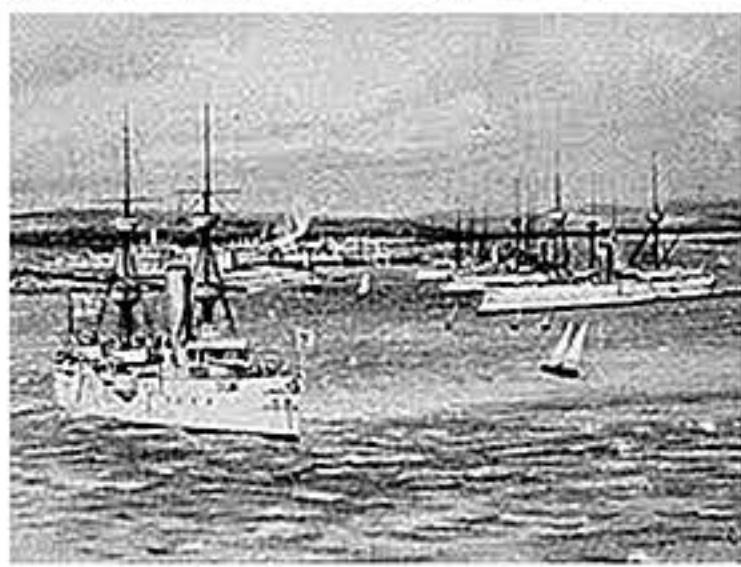


- ① クリミア戦争(1853~56) ⇒ 露、農奴解放令(61)
- ② ペリー来航(53) ⇒ 日本、明治維新(68-)
- ③ アロー戦争(56-) ⇒ 清、洋務運動(1860年代)
- ④ アイグン条約(58)、北京条約(60)  
⇒ 露、アムール川以北と沿海州を併合  
軍港ウラジヴォストーク建設
- ⑤ 樺太・千島交換条約(75) ⇒ 露、樺太を併合。
- ⑥ ウズベク3ハン国を併合(70年代)。
- ⑦ 第2次アフガン戦争(78-80)でアフガン保護国化。
- ⑧ 新疆のムスリム反乱(ヤクブ=ベクの乱)に乗り出兵。  
⇒ イリ条約(81)でイリ条約の西部を併合。



◀ ウズベク人(コーカンド=ハン国)の武将。東トルキスタン(新疆)のムスリム反乱に乗じてタリム盆地と天山北路のイリを統一。左宗棠が率いる清軍に敗北し、自殺。その混乱に乗じてロシアはイリ地方を占領した。

# 清朝の改革



▲ 威海衛に停泊する北洋艦隊  
…日清戦争(黄海の海戦)で壊滅。



## 洋務派

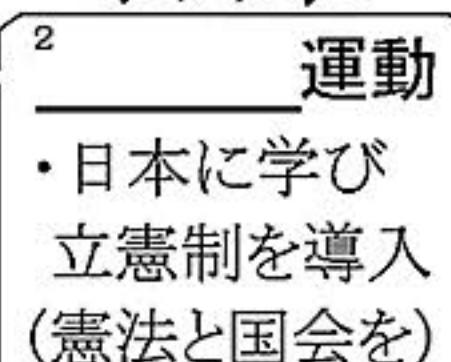
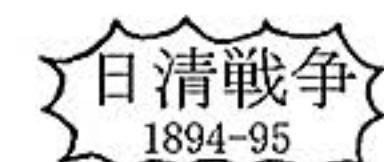
李鴻章  
袁世凱

3 の政変  
(1898)



## 立憲派

康有為  
梁啟超



### 康有為の変法思想

「日本は一小島の蛮夷であったが、たくみに旧法を変じ、たちまちわが琉球を滅ぼし、わが大国(清朝)を侵す。前者の轍、もって鏡とすべし」(『公車上書』1895)

「泰西(西欧)は三百年を経て治まり、日本は施行して三十年で強くなった。わが中国は國土も広く、人民も多い。変法して三年もあれば自立し、さらに成長して、富強は万国を凌駕するであろう。…わが朝の変法、ただ日本を鏡とすればすべてこれで十分である」(『日本變政考』1897)

### 孔子編『春秋』

魯の年代記。

### 『春秋左氏伝』

年代記として読む。

### 『春秋公羊伝』

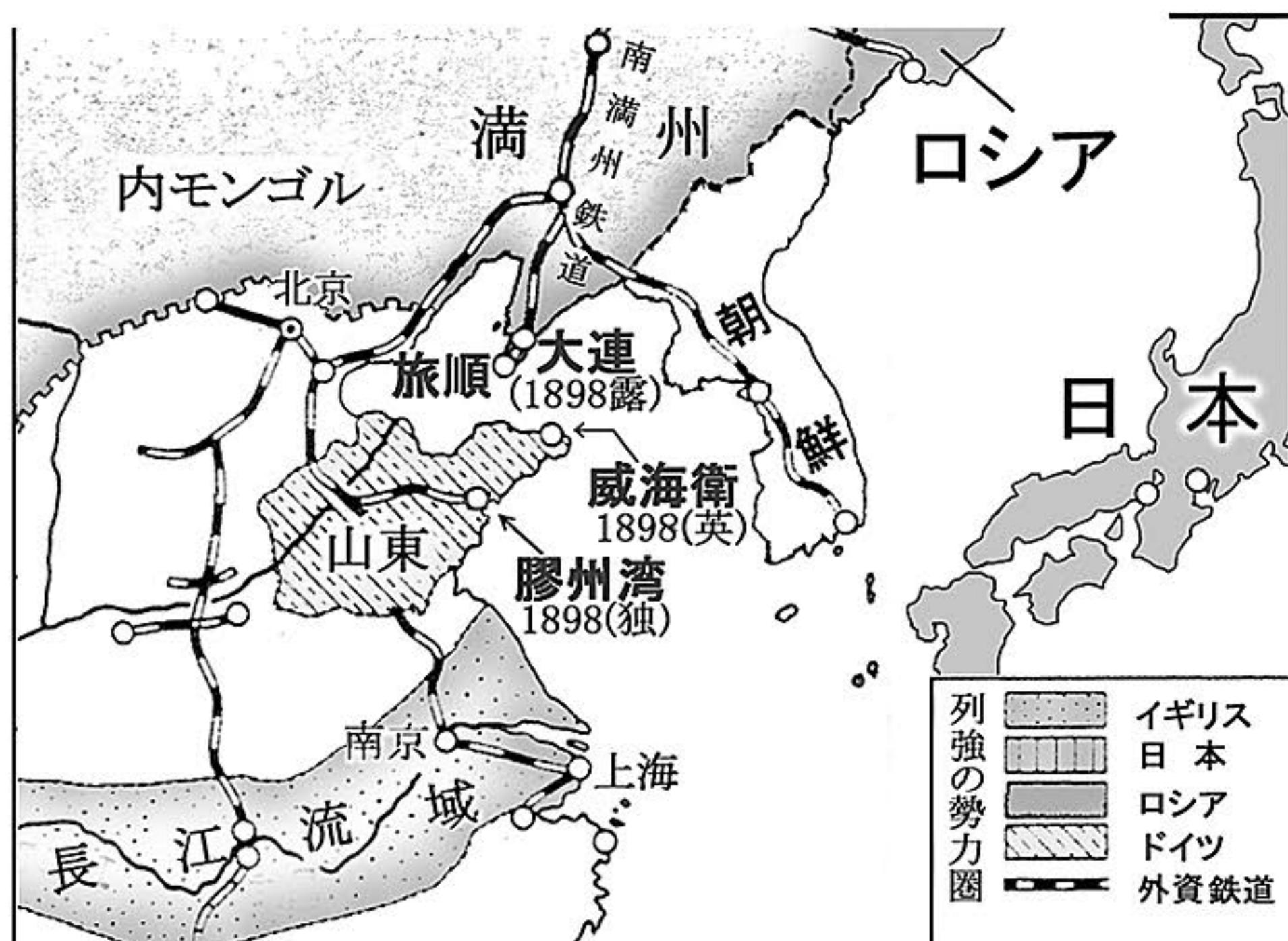
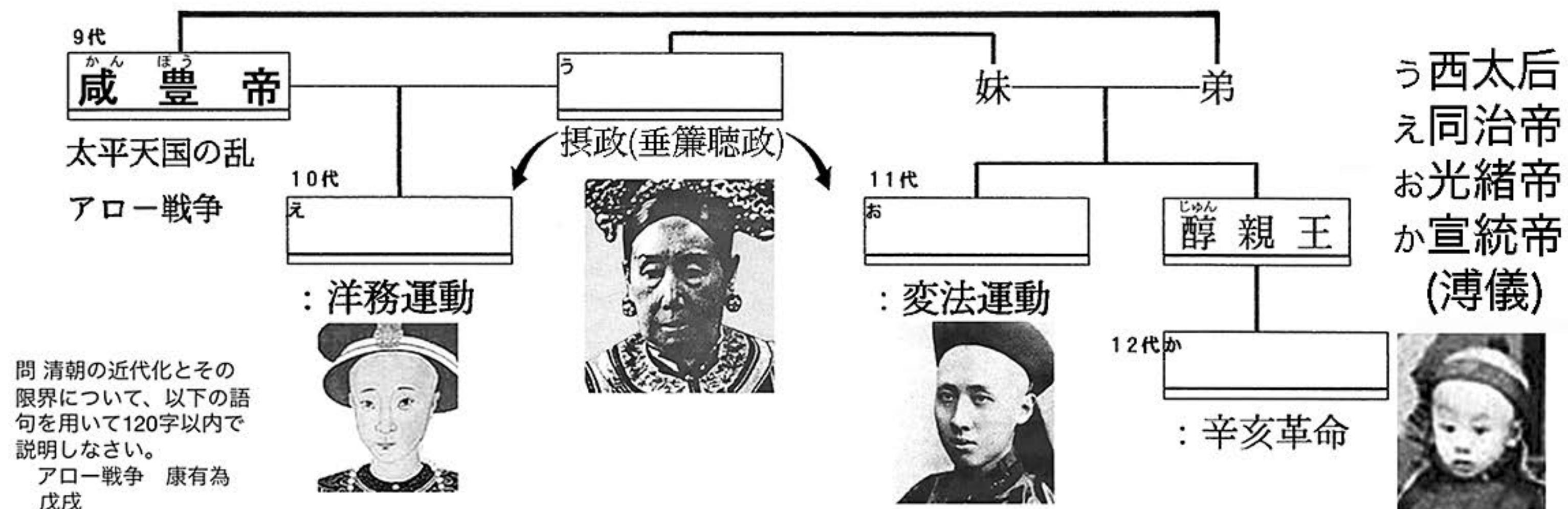
孔子の政治批判を読み取る。

### 公羊学派

(漢)董仲舒

(清)康有為

## 清朝(愛新覚羅氏)系図②



## 清朝の衰退②

- 1 ムラヴィヨフ
- 2 アイグン
- 3 黒龍江
- 4 北京
- 5 ウスリー川
- 6 ウラジヴォストーク
- 7 樺太(サハリン)
- 8 イリ
- 9 清仏
- 10 天津
- 11 日清
- 12 下関
- 13 独立
- 14 遼東
- 15 台湾
- 16 澎湖 (ほうこ)
- 17 東清
- 18 旅順・大連
- 19 膠州湾 (こうしゅうわん)
- 20 山東省
- 21 広州湾
- 22 威海衛
- 23 九龍
- 24 長江
- 25 福建省
- 26 門戸開放 ×開放
- 27 光緒帝 (こうしょてい)
- 28 康有為・梁啟超 (りょうけいちょう)
- 29 変法
- 30 戊戌 (ぼじゅつ)

## 清朝の崩壊

00-01 <sup>1</sup> 事件：山東省の仇教運動  $\Leftrightarrow$  <sup>2</sup> ”を唱え北京入城。

$\Leftrightarrow$  西太后は反乱軍と結び列強に宣戦  $\Leftrightarrow$  <sup>3</sup> • <sup>4</sup> を主力とする8か国が共同出兵。

01 <sup>4</sup> : 列強の<sup>5</sup> 権と賠償金、北京・天津間の武装解除。

$\Leftrightarrow$  露は東北地方の占領を続ける  $\Leftrightarrow$  韓国支配をめぐり、日本との緊張が高まる。

04- 日露戦争：満州・韓国の支配を争う。

05 <sup>6</sup> 条約：日露戦争の講和。

①日本の韓国保護権を承認。

②露  $\Leftrightarrow$  日 : <sup>7</sup> 半島南部・南樺太。

☆光緒新政：袁世凱が北洋軍を設立(1901)。

05 <sup>8</sup> の廃止：官僚制度の近代化。

06 洋式軍隊 (<sup>9</sup>) を各省に設置。

08 <sup>10</sup> 発布：中国初の憲法。

$\Leftrightarrow$  国会開設を公約  $\Leftrightarrow$  西太后の死。

• 宣統帝 <sup>じゅん</sup>：2歳で即位。父の醇親王が摂政。

11 軍機處の廃止  $\Leftrightarrow$  滿州族による内閣制度。

$\Leftrightarrow$  四国借款団 (英・米・独・仏) と結び、

<sup>17</sup> を国有化して担保に。

☆<sup>18</sup> 革命(1911-12)：清朝を打倒した革命。第一革命。

11.9月<sup>19</sup> 暴動：鉄道国有化に反対。

$\Leftrightarrow$  10月10日<sup>20</sup> 挑兵：湖北新軍が反乱。

• <sup>22</sup> : 清朝の軍人。孫文と取引。

$\Leftrightarrow$  <sup>23</sup> を退位させ (清朝滅亡) 、

孫文に代わって臨時大総統に就任。

$\Leftrightarrow$  正式大総統に就任(13)、独裁化。 $\xrightarrow{\text{彈圧}}$

15 日本の二十一ヶ条要求を受諾。

15 袁、帝政を宣言。翌年、没。  $\xleftarrow{\text{彈圧}}$

☆北洋軍：北京防衛軍。袁の死後、分裂。

直隸派・安徽派・奉天派が抗争。

☆革命運動：留学生・華僑が中心。

• <sup>11</sup> : ハワイで結成(94)。

$\Leftrightarrow$  广東の革命家<sup>12</sup> が指導。

• 華興会：湖南派。  
こうこう  
黄興が指導。

• 光復会：浙江派。  
さいがんぱい  
蔡元培が指導。

05 東京で<sup>13</sup> 結成。

機関紙『民報』で革命思想を宣伝。

$\Leftrightarrow$  新軍の幹部など日本留学生に影響。

☆四大綱領：中国同盟会の綱領。

☆三民主義：革命の基本理念。

• <sup>14</sup> : 满州族支配からの独立。

• <sup>15</sup> : 国民主権の確立。

• <sup>16</sup> : 民衆生活の安定。

12.1月 中華民国建国。(首都：<sup>21</sup>)

• 孫文 : 臨時大総統に就任。

$\Leftrightarrow$  <sup>24</sup> 制定：共和政憲法。

$\Leftrightarrow$  <sup>25</sup> を結成、袁の独裁に反対。

13 第二革命 : 国民党が挙兵失敗。

$\Leftrightarrow$  東京へ亡命、<sup>26</sup> 結成。

15 第三革命 : 雲南の軍閥が挙兵。

$\Leftrightarrow$  孫文を迎え、廣東軍政府を樹立(17)。

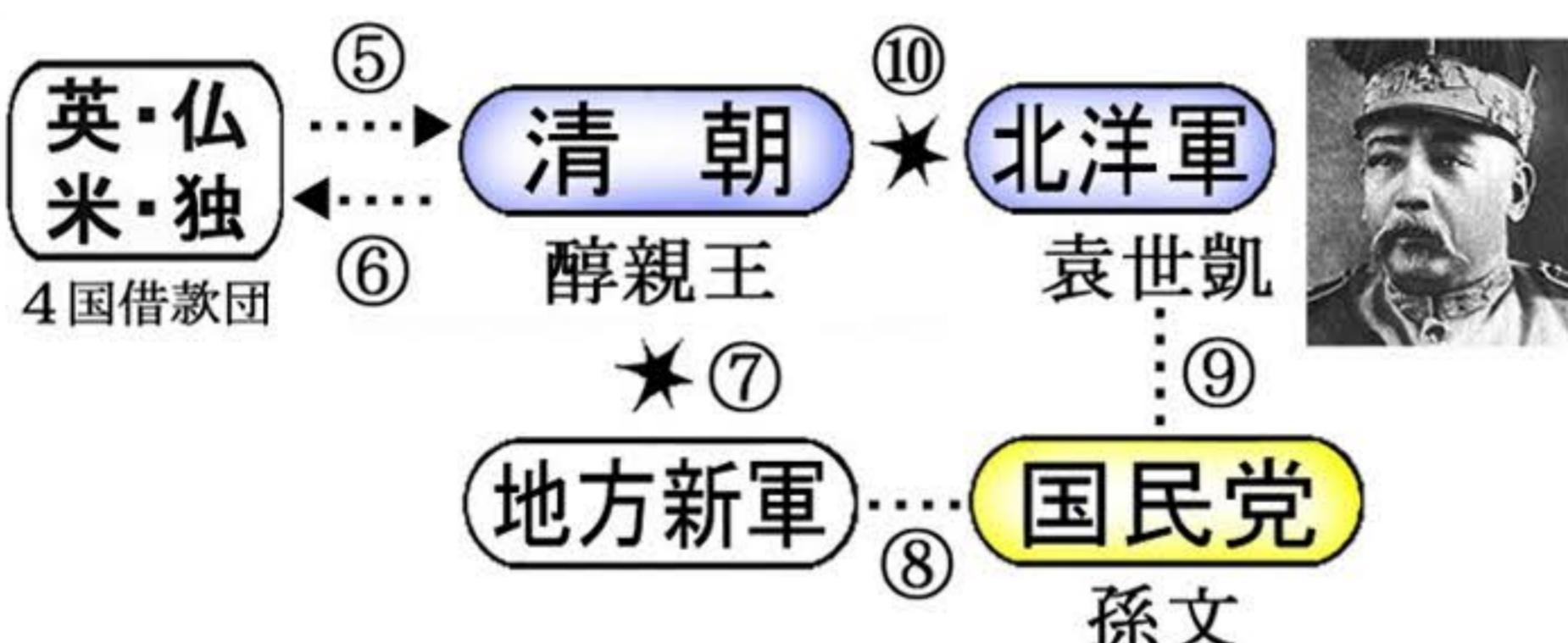
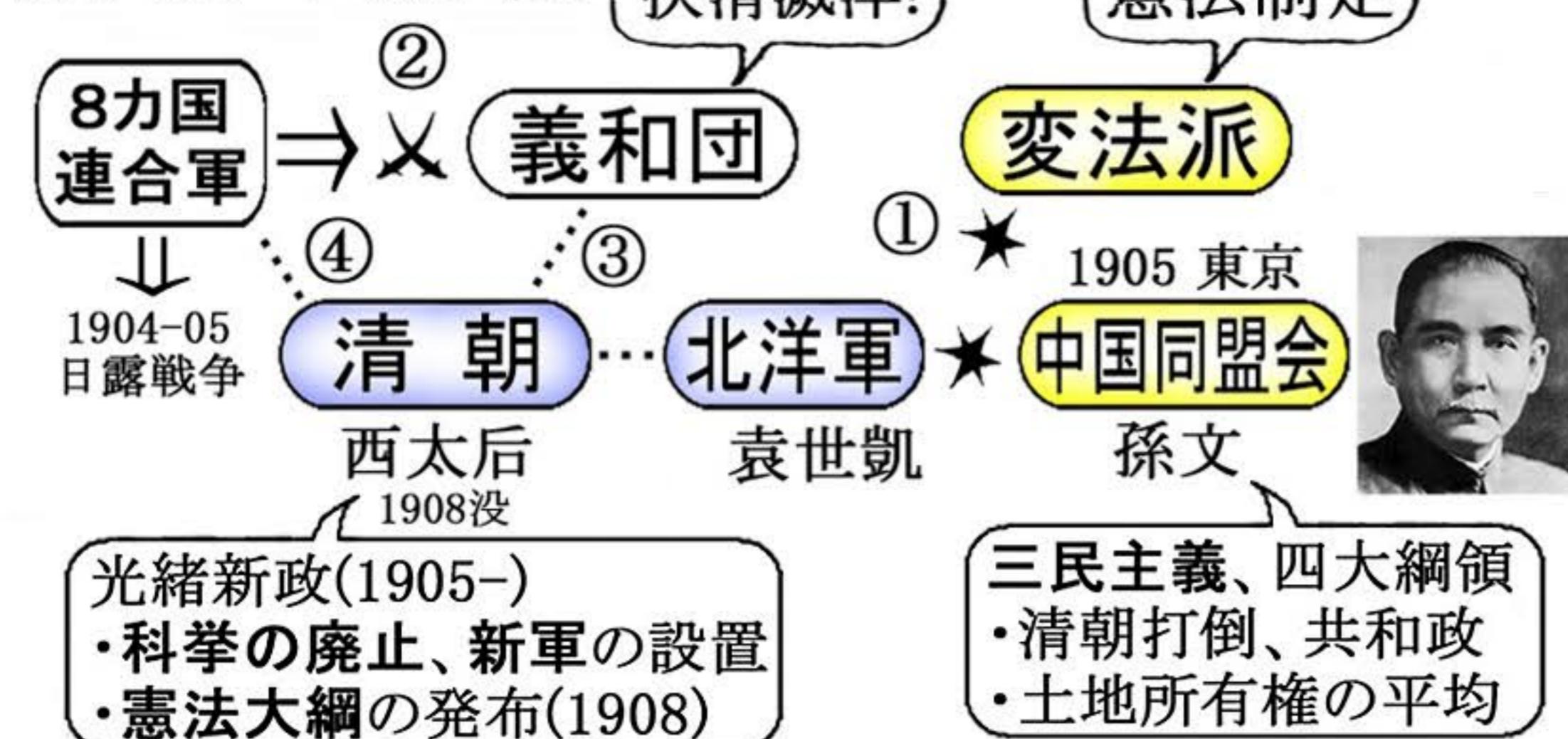
1 義和団 2 扶清滅洋 3 日・露 4 北京議定書 5 北京駐兵 6 ポーツマス 7 遼東 8 科挙

9 新軍 10 憲法大綱 11 興中会 12 孫文 13 中国同盟会 14 民族 15 民権 16 民生

17 幹線鉄道 18 辛亥 19 四川 20 武昌 21 南京 22 袁世凱 23 宣統帝 24 臨時約法

25 国民党 26 中華革命党

# 清朝の崩壊



① 戊戌 ② 義和団 ③ 宣戰 ④ 北京議定書 ⑤ 借款

⑥ 幹線鉄道 ⑦ 武昌 ⑧ 中華民国 ⑩ 宣統帝

⑩ 退位

(1912 清朝滅亡)

① \_\_\_\_\_ の政変(1898)

② \_\_\_\_\_ 事件(1900-01)

③ 清朝が列強に \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_ (1901)

… 外国軍隊の北京駐留。

⑤ \_\_\_\_\_ の供与

⑥ \_\_\_\_\_ 国有化

… 借款の担保として外資へ。

⑦ 四川暴動

⇒ \_\_\_\_\_ 蜂起(1911.10.10)

⑧ \_\_\_\_\_ 建国(1912)

⑨ 密約(袁を臨時大総統に)

⑩ 退位

(1912 清朝滅亡)

## 四大綱領(中国同盟会軍政府宣言 1905年、東京)

- (1) 鞍虜(滿州族)を驅除する。漢人はこれまで260年間、亡國の民であった。滿州政府の兇悪はいまや極点に達しており、義軍の目指す所はかの政府を顛覆してわが主権を奪回することである。
- (2) 中華を回復する。中国は中国人の国であり、中国の政治は中国人が担う。鞍虜を驅除したのち、わが民族的国家を光復する。
- (3) 民国を建立する。平民革命により国民政府を建てる。国民たる者みな平等であり参政権を有す。帝政を試みる者がいれば、天下共にこれを討つ。
- (4) 地権を平均する。文明の福祉は、国民がこれを享受する。…利益を独占して国民の生命を制する者がいれば、大衆とともにこれを追放する。



▲『民報』創刊号(1905)

…中国同盟会の機関紙。

## 文学革命



陳獨秀主催の月刊誌。  
胡適の自由主義から、  
李大釗の共産主義へと  
論調が変わり、共産党  
の結成に影響を与えた。

自由主義 ← → 共産主義



胡 適  
米国留学。白話運動を提唱。



陳 独秀  
『新青年』を創刊。  
共産党初代総書記。



李 大釗  
北京大学教授。  
共産主義を紹介。



魯 迅  
『狂人日記』  
『阿Q正伝』



蔡 元培  
北京大学学長。  
胡適・陳獨秀・  
李大釗を教授に招く。



毛 沢東  
北京大学図書館に勤務。  
李大釗に共産主義を学ぶ。

## 1920年代の中国

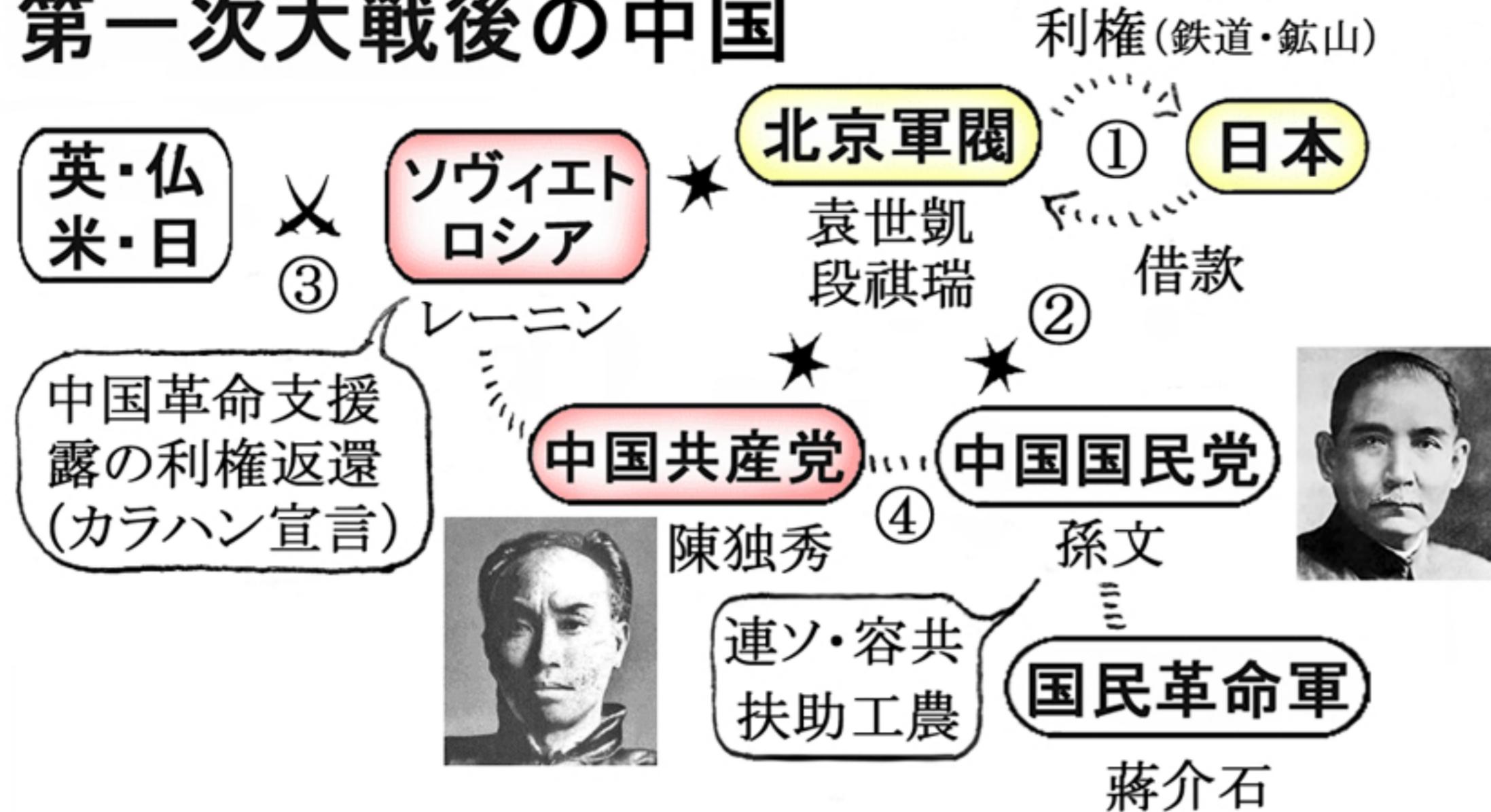
- ☆文学革命：儒教批判、民衆啓蒙運動。
- ・上海で<sup>1</sup>\_\_\_\_\_が『新青年』刊行。
  - ・蔡元培が<sup>2</sup>\_\_\_\_\_大学学長に就任。  
⇒陳獨秀ら進歩派の知識人を集め。
  - ・<sup>3</sup>\_\_\_\_\_のマルクス主義研究会。
  - ・<sup>4</sup>\_\_\_\_\_の白話運動：口語の文学。  
⇒<sup>5</sup>\_\_\_\_\_『狂人日記』『阿Q正伝』
- 19<sup>9</sup> \_\_\_\_\_運動：北京の学生デモ。  
⇒全国的な反帝国主義・反軍閥運動へ。  
⇒軍閥政府はヴェルサイユ条約を拒否。
- 19<sup>10</sup> \_\_\_\_\_結成（上海⇒広州）  
：孫文が中華革命党を大衆政党に改組。
- 22 ソ連外交官ヨッフェが孫文と会談  
⇒コミンテルン、国民党支援を決定。
- 24 中国国民党第1回全国代表大会。  
 ①<sup>14</sup> \_\_\_\_\_・ \_\_\_\_\_・  
の三大政策（第1次<sup>15</sup> \_\_\_\_\_）  
 ②軍閥打倒の<sup>16</sup> \_\_\_\_\_軍を編成。  
⇒黄埔軍官学校の設立。校長に蒋介石。
- 25 孫文の死⇒党内で左右対立が激化。▶  
26-<sup>17</sup> \_\_\_\_\_：国民革命軍が北上。  
⇒右派の<sup>18</sup> \_\_\_\_\_が指揮。
- 27.4月<sup>22</sup> \_\_\_\_\_：蒋介石が共産党を武力弾圧。国共合作が崩壊。  
⇒<sup>23</sup> \_\_\_\_\_国民政府：国民党右派。  
⇒北伐再開。北京軍閥打倒を目指す。
- 27-28 日本の山東出兵：北伐妨害に失敗。



▲ 1930年の上海租界

- 14- 第一次世界大戦：日本、対独宣戦。  
⇒大隈内閣は中国への勢力拡大を画策。
- 15<sup>6</sup> \_\_\_\_\_要求：袁世凱に強要。  
 ①<sup>7</sup> \_\_\_\_\_のドイツ権益を日本へ。  
 ②東北南部・内モンゴルを日本勢力圏に。
- 17<sup>8</sup> \_\_\_\_\_協定：米が容認。
- 17 段祺瑞軍閥政権が連合国側に参戦。
- 19 パリ講和会議：連合国は21か条を容認。  
⇒中国の山東省返還要求は拒否される。
- 19 カラハン宣言：ソヴィエト革命政権が中国に対する不平等条約を撤廃。
- 19 モスクワでコミンテルン結成。
- 21 上海で<sup>11</sup> \_\_\_\_\_結成。  
：総書記に<sup>1</sup> \_\_\_\_\_。コミンテルン中国支部。
- 21-<sup>12</sup> \_\_\_\_\_会議（米大統領ハーディング）
- 22<sup>13</sup> \_\_\_\_\_条約：中国の領土保全。  
⇒日本は山東省を中国に返還。  
(共産党の動き)
- 25<sup>19</sup> \_\_\_\_\_：上海の反帝運動。
- 27.2月-<sup>20</sup> \_\_\_\_\_政府：左派と共産党。  
3月 上海の労働者が同市を自力で解放。  
⇒上海の<sup>21</sup> \_\_\_\_\_財閥や列強は蔣に接近。
- ⇒<sup>23</sup> \_\_\_\_\_国民政府：国民党右派。  
⇒武漢政府分裂。左派は南京政府に合流。  
⇒共産党は地方の農村に解放区を建設。  
(陸豐・海豐⇒井崗山⇒瑞金)
- (解答) 1 陳獨秀 2 北京 3 李大釗 4 胡適 5 魯迅  
 6 21力条 7 山東省 8 石井・ランシング 9 五・四  
 10 中国国民党 11 中国共産党 12 ワシントン  
 13 九力国 14 連ソ・容共・扶助工農 15 国共合作  
 16 国民革命軍 17 北伐(×閥) 18 蔣介石  
 19 五・三〇運動 20 武漢 21 浙江  
 22 上海クーデタ 23 南京

# 第一次大戦後の中国



- ① \_\_\_\_\_ の要求 (1915)  
 ② \_\_\_\_\_ 運動 (1919)  
 ③ \_\_\_\_\_ 戰争 (1918-)  
 ④ \_\_\_\_\_ (1924)
- ① 21カ条 ② 五・四  
 ③ 対ソ干渉 ④ 第1次国共合作

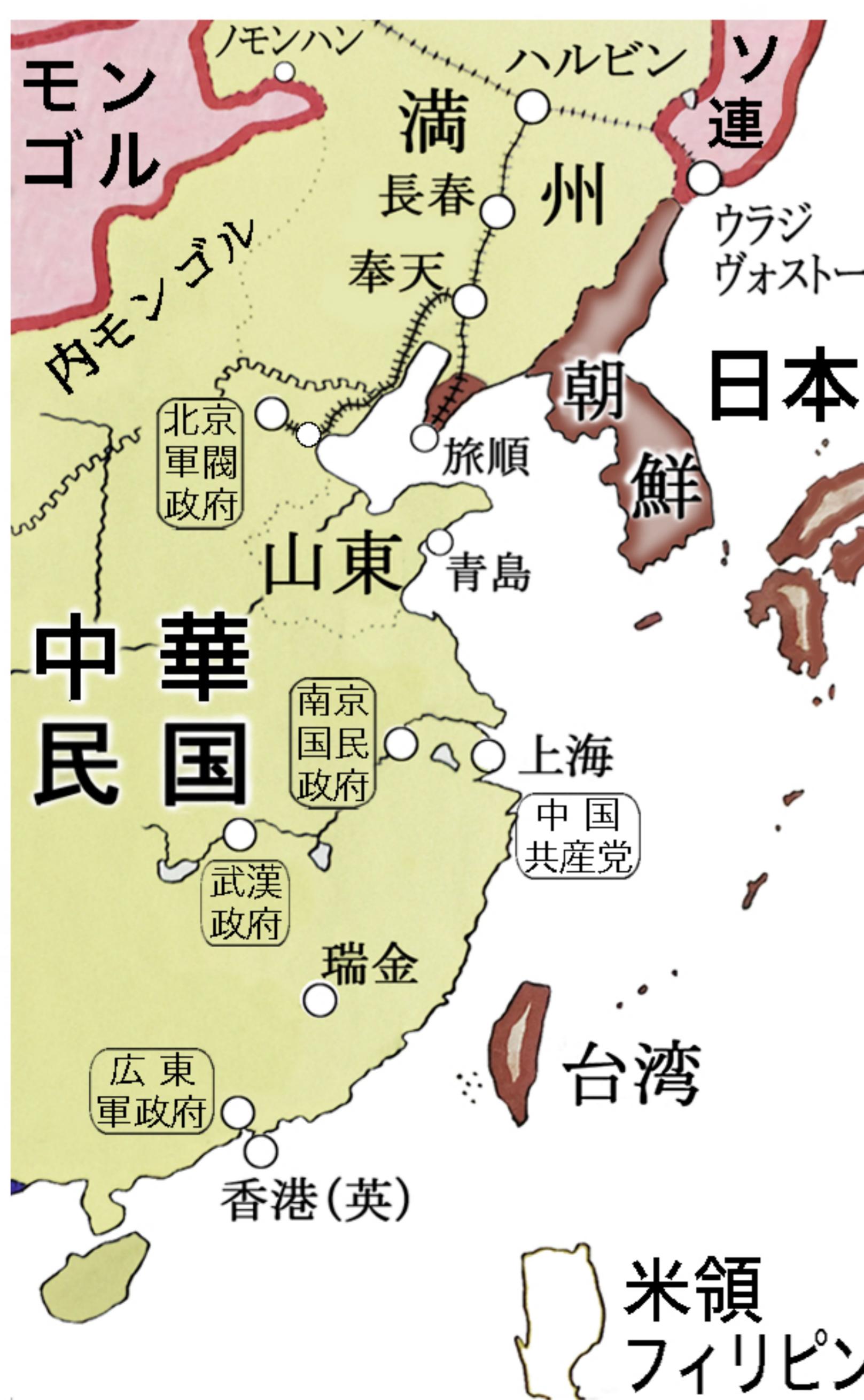
## 五・四運動 (北京学生界宣言 1919.5.4)

平和会議が開かれたとき、我らが期待し祝賀したのは、世界に正義があり、人道があり、公理があるとえたからであった。…我が国を敗戦国ドイツ・オーストリアと同列に置くのは、公理でなく、正義でない。…  
 日本は狐狼の国である。一片の通牒によってわが国から21カ条の利権を略奪した国である。従ってわが国がこれと交渉することは要するに割譲であり、青島（チンタオ）の割譲であり、山東を失うことに他ならない。…  
 フランスはアルザス・ロレーヌ両州について、これを得ずんばむしろ死せん、といった。朝鮮は独立を図り、独立せんばむしろ死せん、といった。もし国家の存亡、国土の割譲、問題の窮迫に際して、国民がなお一大決心を下して

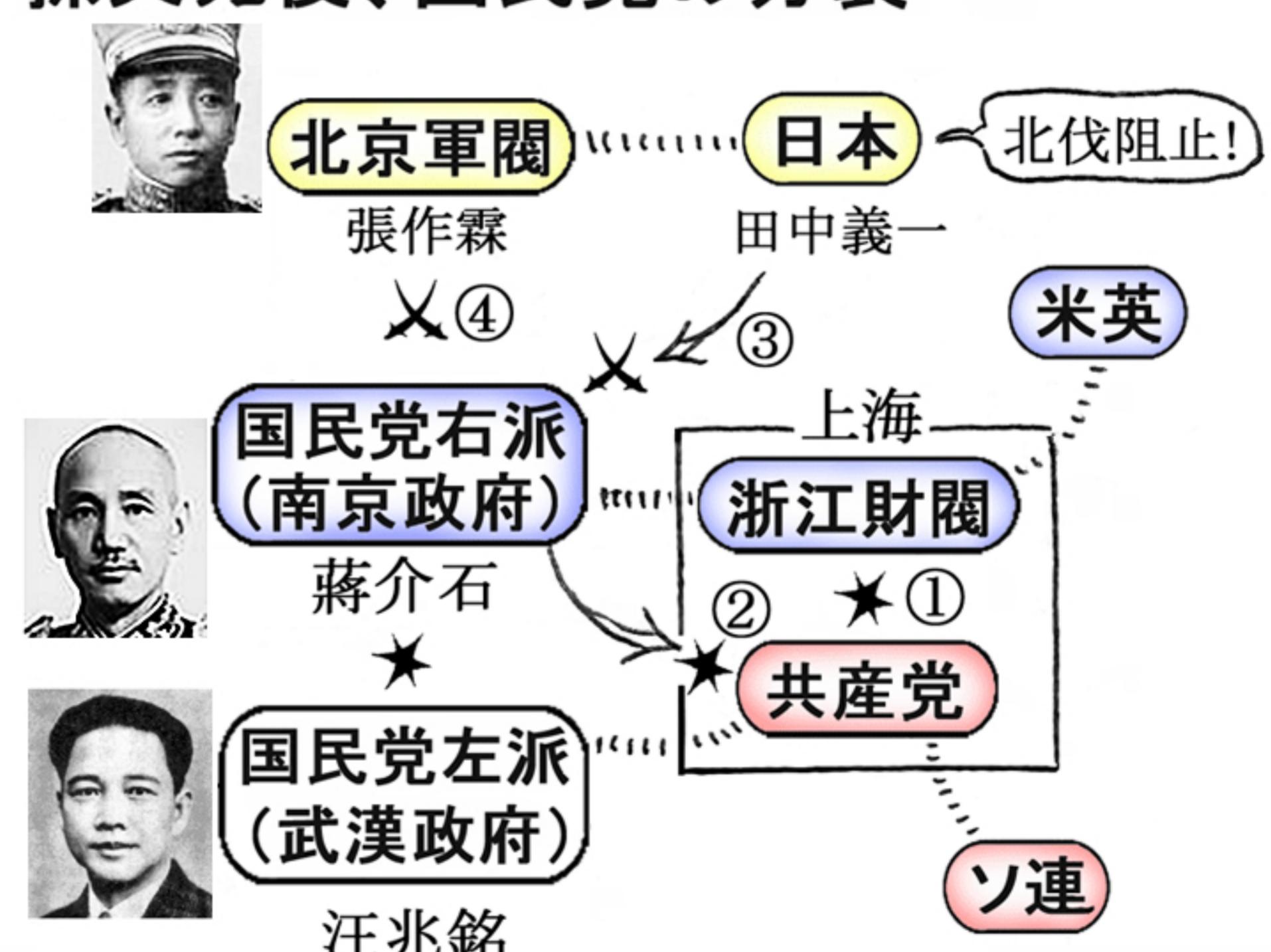
最後の奮起をなしえなければ、これは20世紀の劣等民族であり、人類として語るに足るものではない。…危機は目前に迫っている。願わくは、共に図らんことを。

## 孫文の遺言 (1925 北京)

余は力を中国革命に費やすこと四十余年、その目的は、大アジア主義に基づく中国の自由、平等、平和を求むることにあった。…この革命を成功させるには、何よりもまず民衆を喚起し、世界中でわが民族を平等に遇してくれる諸民族と協力し、力を合わせて奮闘せねばならない。…しかしながら現在、革命いまだ成らず。わが同志たちは…三民主義および第1次全国代表大会宣言に従って引き続き努力し、目的貫徹に向け、誠心誠意務めねばならない。



## 孫文死後、国民党の分裂



- ① \_\_\_\_\_ 運動 (1925)  
 ② \_\_\_\_\_ (1927)  
 ③ \_\_\_\_\_ (1927)  
 ④ \_\_\_\_\_ (-1928)

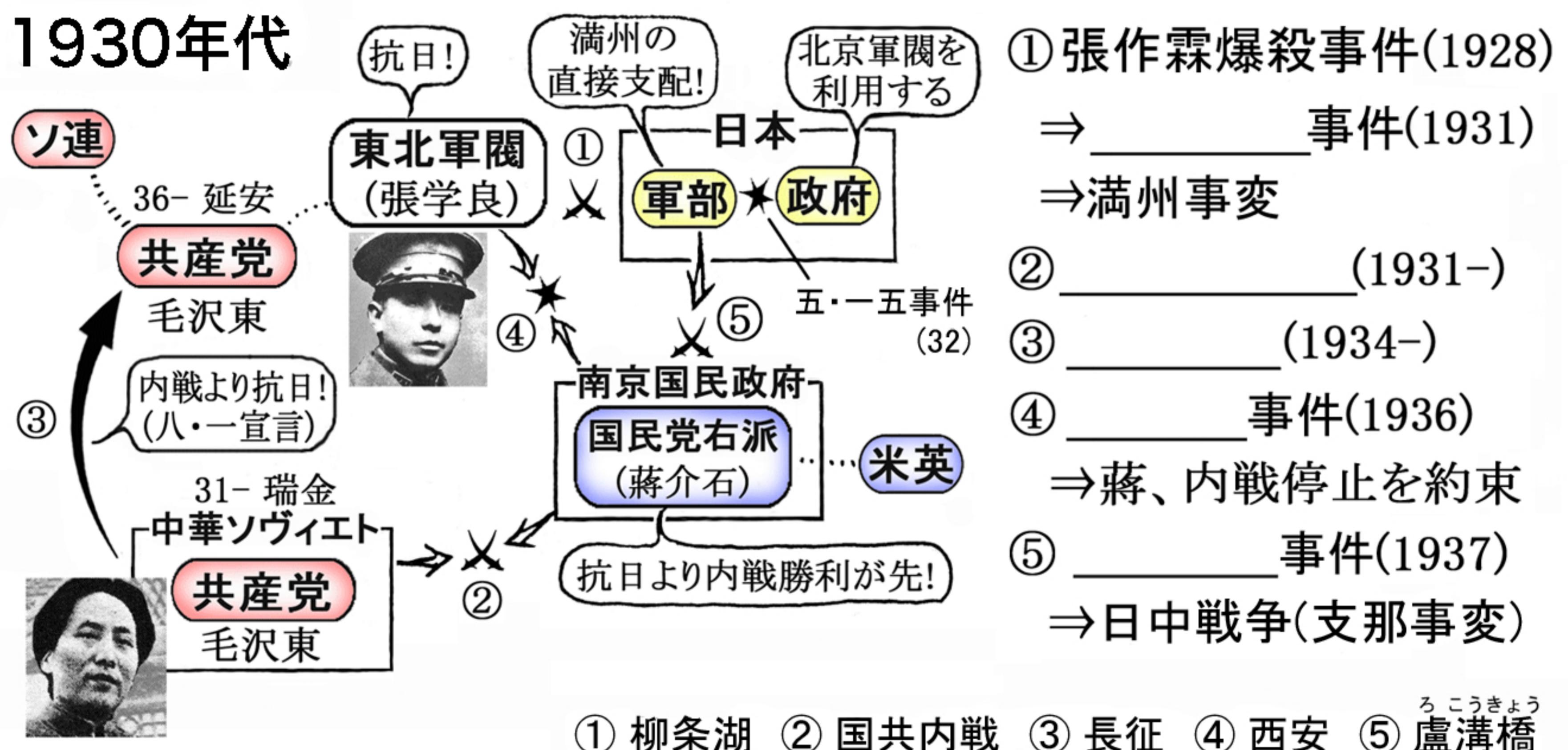
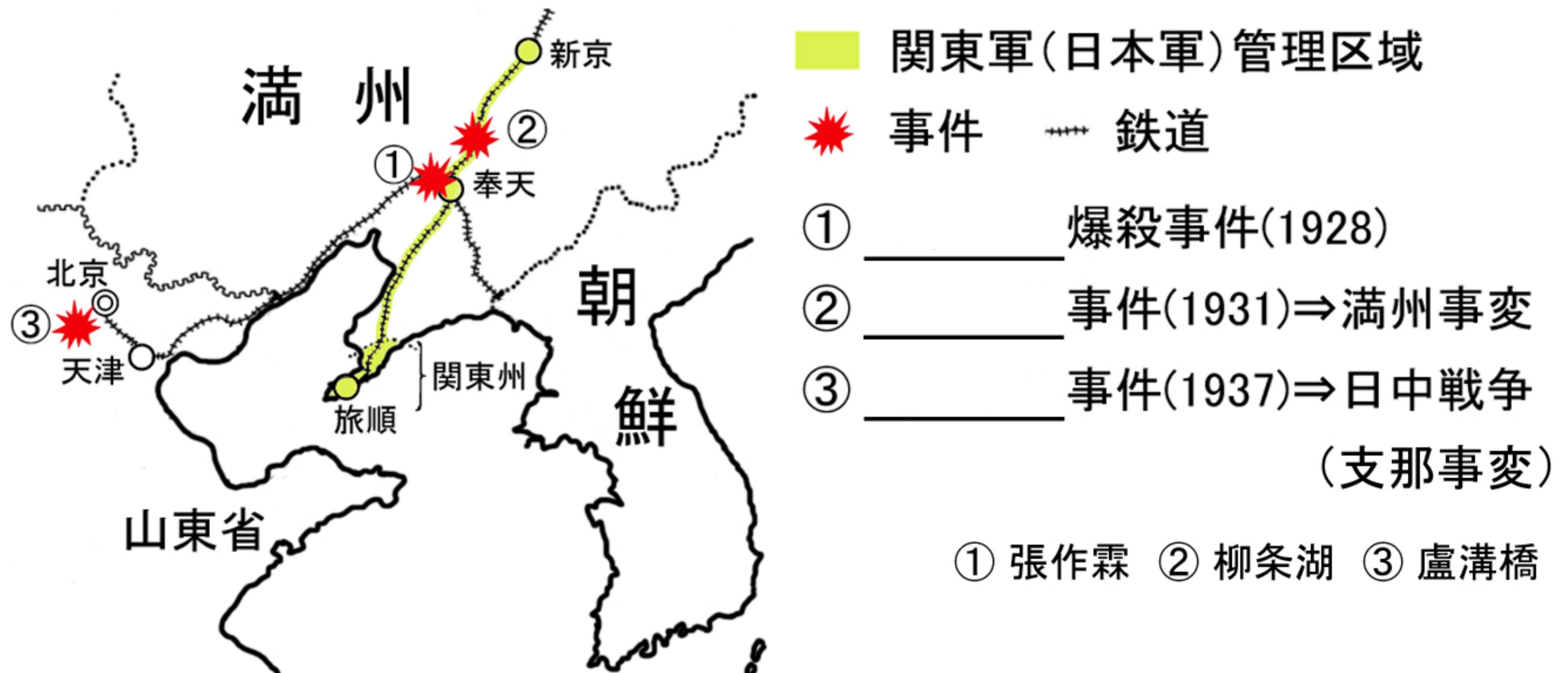
問 中国の国民革命の展開について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
 五・四運動 上海クーデタ  
 北伐

- ① 五・三〇 ② 上海クーデタ  
 ③ 山東出兵 ④ 北伐

## 1930年代の中国

- 27 東北軍閥の張作霖が北京政府を掌握。
- 28 蔣介石、北京に入城。張作霖は逃走。
- 息子<sup>3</sup> \_\_\_\_\_ が蔣介石に投降。 ◀
- 北伐完成：蔣介石による中国統一。
- ☆<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ : 共産党軍。総司令は朱徳。
- 31-<sup>7</sup> \_\_\_\_\_ 共和国臨時政府  
(江西省<sup>8</sup> \_\_\_\_\_) 首席に<sup>9</sup> \_\_\_\_\_。  
→国民党による包囲、攻撃を受けて崩壊。
- ：紅軍が陝西省<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ へ大移動。  
途中の遵义會議(35)によって、  
<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ の指導権が確立。
- 35 コミンテルン、人民戦線を提唱。  
“反ファシズム統一戦線を”
- 35<sup>16</sup> \_\_\_\_\_ 宣言：内戦停止と抗日。  
→蔣介石はこれを無視。内戦を続ける。
- 35<sup>17</sup> \_\_\_\_\_ 改革：中央銀行を創設。  
→通貨・元を英ポンドとリンク、財政安定。
- 36<sup>18</sup> \_\_\_\_\_ 事件：張学良が蔣を監禁。  
→共産党の周恩来が仲介、蔣を説得。
- 37.8月<sup>21</sup> \_\_\_\_\_ 戰線  
(第2次国共合作)成立  
→紅軍は国民政府軍に編入、  
<sup>22</sup> \_\_\_\_\_ 軍・新四軍と改称。
- 41 米、<sup>25</sup> \_\_\_\_\_ 法：重慶へ武器援助。  
→英領ビルマ・仏印に“援蔣ルート”。 → 40 日本軍、仏領インドシナ進駐。  
→米・英が中国との不平等条約撤廃(42) 41 日本軍、真珠湾攻撃、日米開戦。
- ☆<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ : 旅順駐留の日本陸軍。
- 28<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ 爆殺事件。  
：列車ごと爆破。関東軍の謀略か。
- 31-32<sup>4</sup> \_\_\_\_\_ 事変 (→世界恐慌)  
：<sup>5</sup> \_\_\_\_\_ 事件を口実にして  
関東軍が東北地方全域を占領。
- 張学良は蔣の命令で東北から撤退。
- 32<sup>4</sup> \_\_\_\_\_ 国：日本の傀儡国家。  
→清朝の宣統帝<sup>12</sup> \_\_\_\_\_ が執政に。
- 32 上海事変①：共同租界で日中が衝突。
- 32<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ 事件：犬養首相暗殺。
- 32 国際連盟の<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ 調査団。  
→日本軍撤退と、満州国際管理を提案。  
→総会は撤兵勧告案を42対1で可決。
- 33 日本、<sup>15</sup> \_\_\_\_\_ 脱退。  
→日本、海軍軍縮条約の破棄を通告(34)
- 33 塘沽協定：満州事変の休戦協定。  
→河北分離工作：河北省に親日政権。
- 36 日独防共協定：コミンテルンに対抗。
- 37-45<sup>19</sup> \_\_\_\_\_ 戰争 (支那事変)  
37.7.7<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ 事件を機に日中が衝突。  
7.29 通州事件：日本人居留民を虐殺。
- 37.8.13 上海事変②：共同租界で再び衝突。
- 37.12月 南京攻略 → 蔣は四川省<sup>23</sup> \_\_\_\_\_ へ。  
→国民党左派の<sup>24</sup> \_\_\_\_\_ が対日協力。

(解答) 1 関東軍 2 張作霖 3 張学良 4 満州 5 柳条湖 6 紅軍 7 中華ソヴィエト 8 瑞金 9 毛沢東  
10 長征 11 延安 12 溥儀 13 五・一五 14 リットン 15 国際連盟 16 八・一 17 幣制 18 西安 19 日中  
20 盧溝橋 21 抗日民族統一戦線 22 八路 23 重慶 24 汪兆銘 25 武器貸与



### 八・一宣言

(救国抗日のため全同胞に告げる書 1935.8.1 モスクワ)  
 日本軍国主義の我らに対する進撃はますます激しい。  
 南京の売国政府は一步一步投降し、わが北方の各省も、  
 東北4省に次いで事実上、陥落してしまった！…蒋介石  
 ・張学良などの賣國奴は、数年来、無抵抗政策をもつて  
 わが国土を売り渡し、…敵日本的一切の要求を受け入れ  
 ている。…共産党とソヴィエト政府はあらためて全同胞に  
 訴える。…国民党の軍隊がソヴィエト区攻撃をやめさえ  
 するならば、…紅軍はただちに敵対行動を停止し、彼らと  
 親密に手を携え、共同して救国することを望むものである。

### 蒋介石の演説(西安 1936)

対日戦争などを唱えてはならない。今は日本の脅威を口にする時ではない。今日、日本との戦いを口にし、共産党と戦うべきでないという者は、中国軍人とはいえない。日本軍は遠くにいるが、共産主義者はまさにこの地にいるのだ。



▲ 張作霖爆殺事件(1928)



▲ 西安事件(1936)

張学良(左)が蒋介石(右)を監禁し、内戦停止と抗日を迫った。

問 満州事変から日中全面戦争に至る経緯について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。  
 八・一宣言 西安事件

## 日本の近代化と朝鮮

☆李氏朝鮮：清朝の藩属国。朱子学が官学。☆日本：徳川家が300諸侯を支配。

ヤンバン  
国王專制、官僚（両班）国家。

・高宗：鎖国派の摂政<sup>8</sup>が実権。

⇒明治政府の国書を無礼として拒否。

73 開国派の外戚<sup>9</sup>が大院君追放。

75 <sup>10</sup>事件：日本が出兵。 ←

⇒<sup>11</sup>条規：不平等条約。

（①日本の領事裁判権、朝鮮の無関税。

②釜山など3港を開港（⇒元山、仁川）

82 壬午軍乱：大院君のクーデタを清朝が鎮圧。

（・<sup>12</sup>党：閔氏政権。親清派。

・<sup>13</sup>派：親日派の官僚。独立党。

・朴泳孝。

84 <sup>15</sup>政変：開化派のクーデタ ⇒清朝が再出兵。金・朴は日本へ亡命。

85 <sup>16</sup>条約：日清は朝鮮から撤兵。再出兵時には事前通告。

94 <sup>17</sup>農民戦争：東学の指導者<sup>18</sup>が率いる大農民反乱。

94- 日清戦争：清朝は閔氏の要請により、日本は居留民保護を口実に出兵。

⇒下関条約（95）：清朝は朝鮮の独立を承認 ⇒開化派政権による甲午改革：両班の廃止。

⇒三国干渉で挫折 ⇒閔妃殺害事件：日本公使、日本軍・警察、朝鮮軍の一部が関与。

⇒高宗は大韓帝国と改称（97）、ロシア公使館に保護を求める。

04- 日露戦争 ⇒第1次日韓協約（04）：韓国政府に日本人の財政・外交顧問をおく。

⇒ポーツマス条約（05）：日本の韓国保護権をロシアが承認。

05 <sup>19</sup>日韓協約（乙巳保護条約）：統監<sup>20</sup>。外交権を奪う。

07 <sup>21</sup>事件：高宗が万国平和会議に提訴 ⇒伊藤は、高宗を退位させる。

・純宗：第3次日韓協約（07）：韓国統監が内政権を完全に握る。韓国軍隊も解散。

⇒<sup>22</sup>鬭争の激化 ⇒<sup>23</sup>がハルビン駅で伊藤博文を暗殺（09）。

10 <sup>24</sup>条約：純宗が明治天皇に統治権を譲与。李氏朝鮮（1392-）滅亡。

⇒日本は<sup>25</sup>を設置。初代総督<sup>26</sup>（陸軍大将）。

14-18 第一次世界大戦 ⇒米大統領 wilson、 “十四か条” で民族自決を提唱。

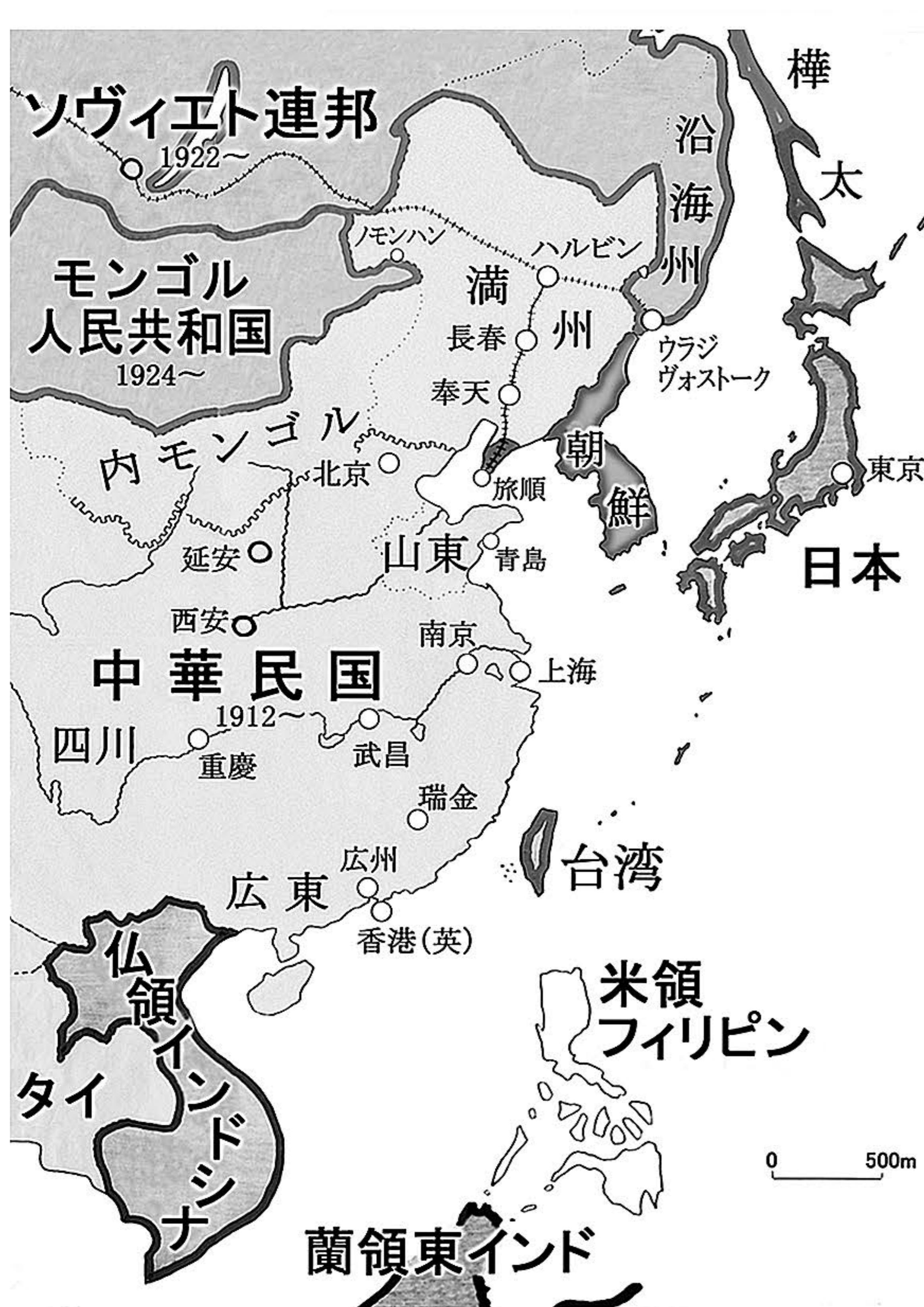
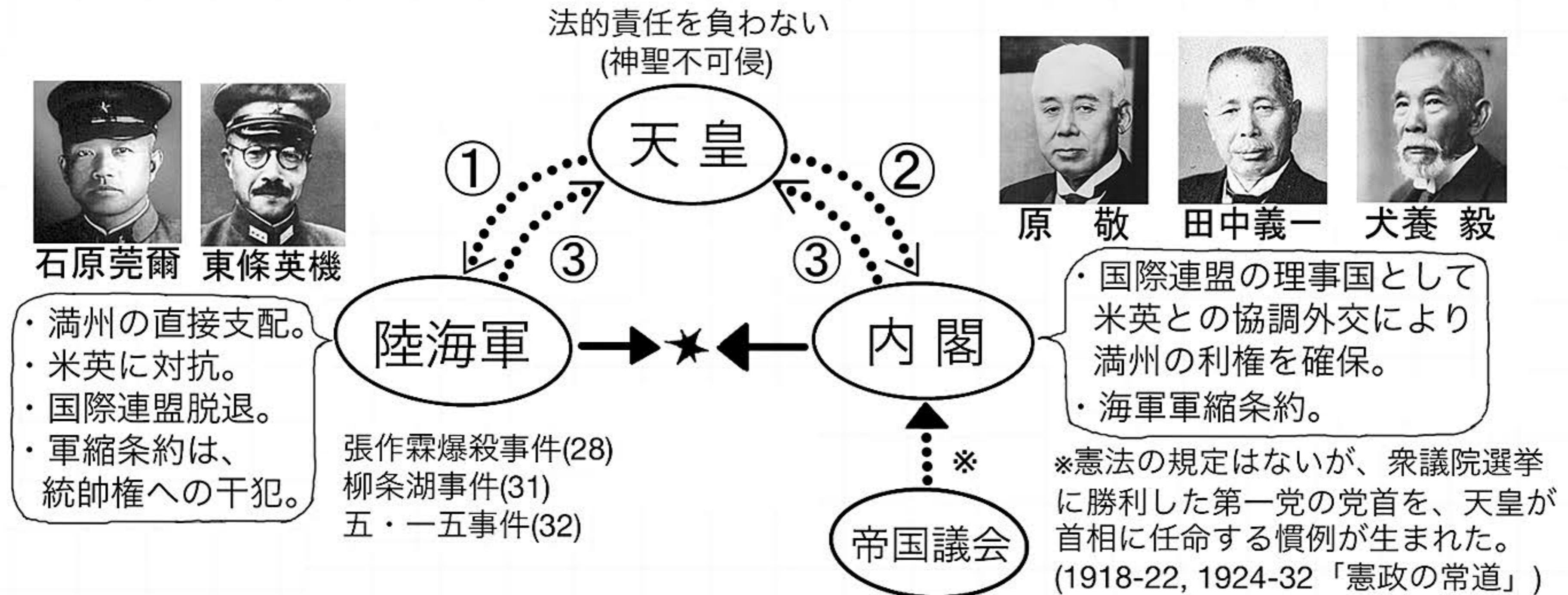
19 <sup>27</sup>運動：ソウルで知識人が独立宣言 ⇒全土で反日デモ。日本軍が鎮圧。

（解答）1ペリー 2明治維新 3日清修好 4台湾 5琉球 6沖縄 7大日本帝国 8大院君 9閔氏（閔妃）

10江華島 11日朝修好 12事大 13開化 14金玉均 15甲申 16天津 17甲午 18全琫準 19第2次

20伊藤博文 21ハーグ密使 22反日義兵 23安重根 24韓国併合 25朝鮮総督府 26寺内正毅 27三・一

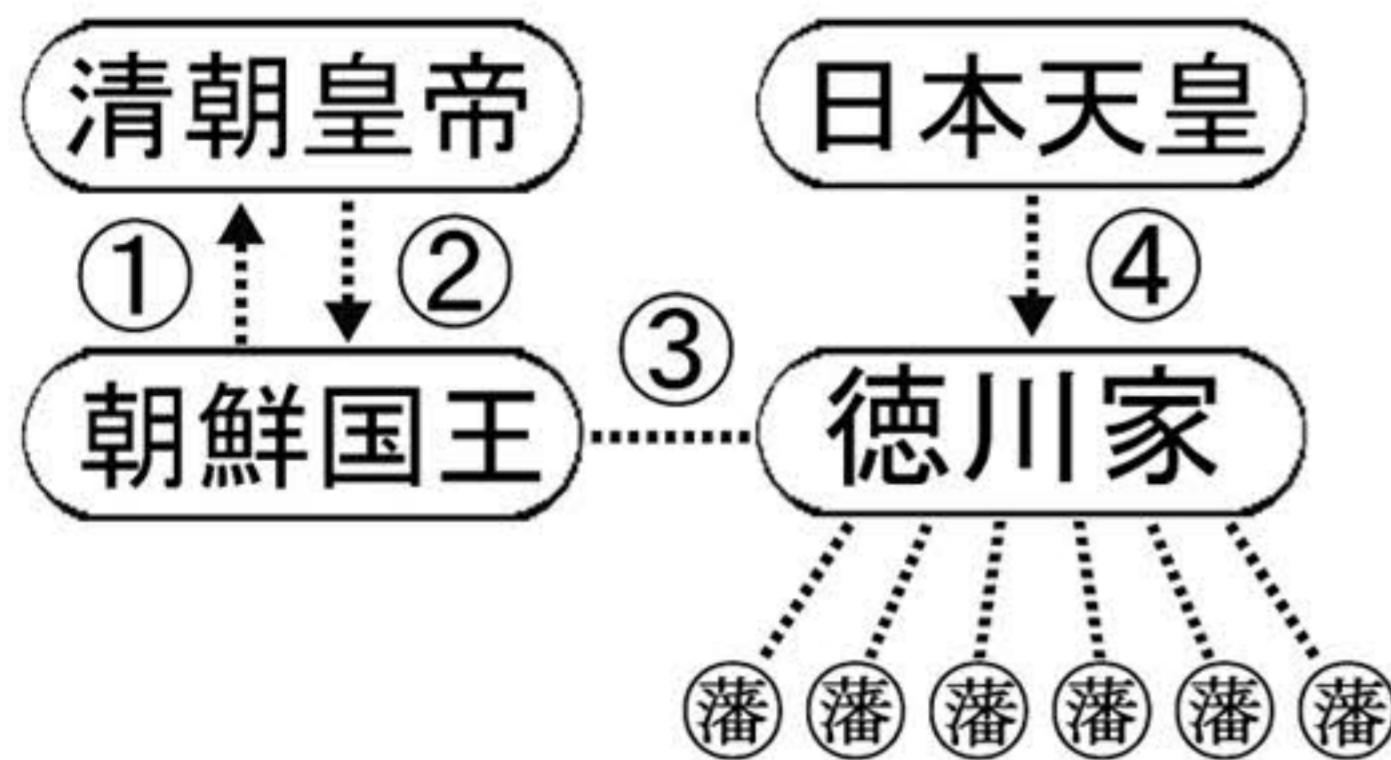
# 大日本帝国憲法 ① 統帥権 ② 任免権 ③ 補弼(助言)



## 戦時国際法(ハーグ陸戦条約 1899)

- ① 敵兵士、ゲリラの殺害…合法  
② 降伏した捕虜の殺害や虐待…違法  
③ 非戦闘員(市民)の殺害や虐待…違法

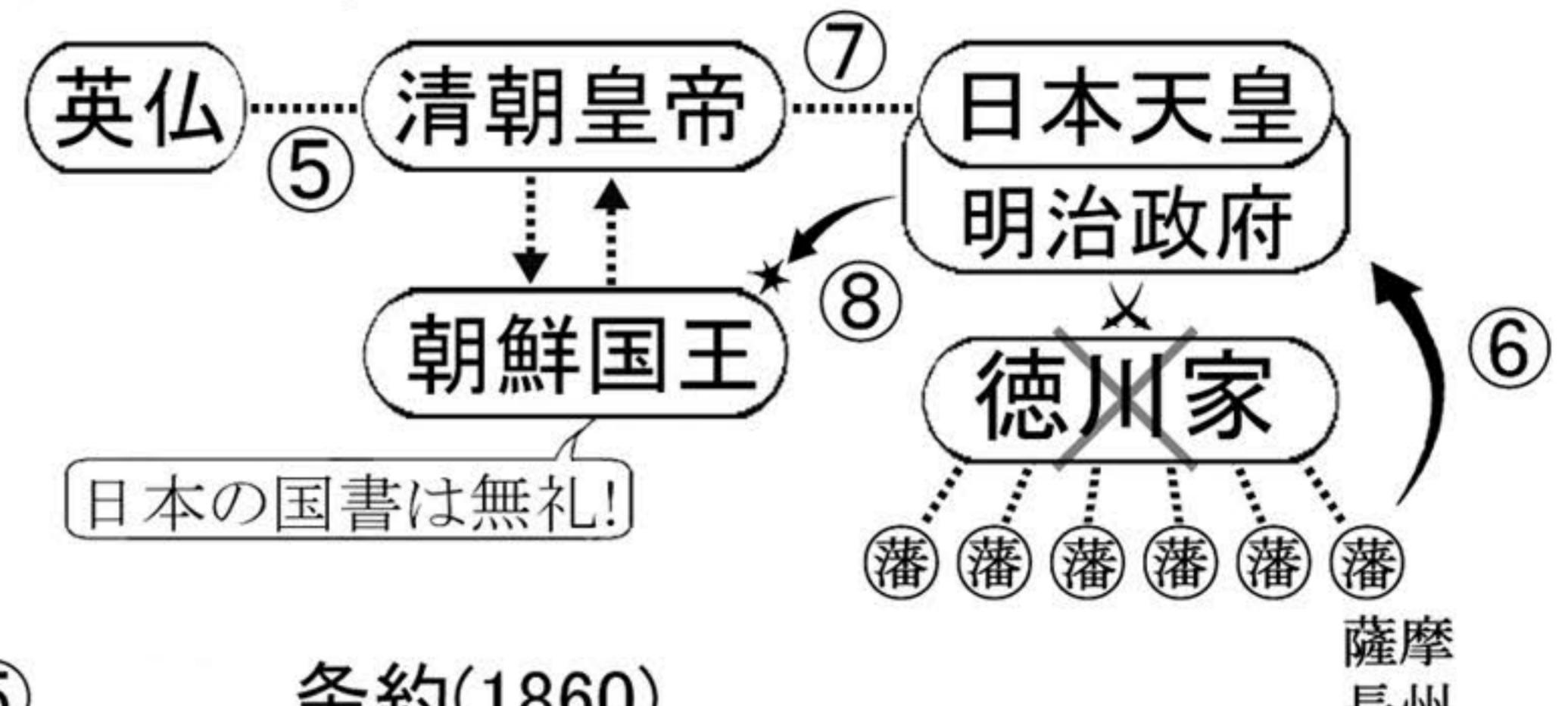
## 冊封体制下の東アジア



- ① 朝貢 ② 冊封  
 ③ 対等外交(朝鮮通信使)  
 ④ 征夷大將軍に任命

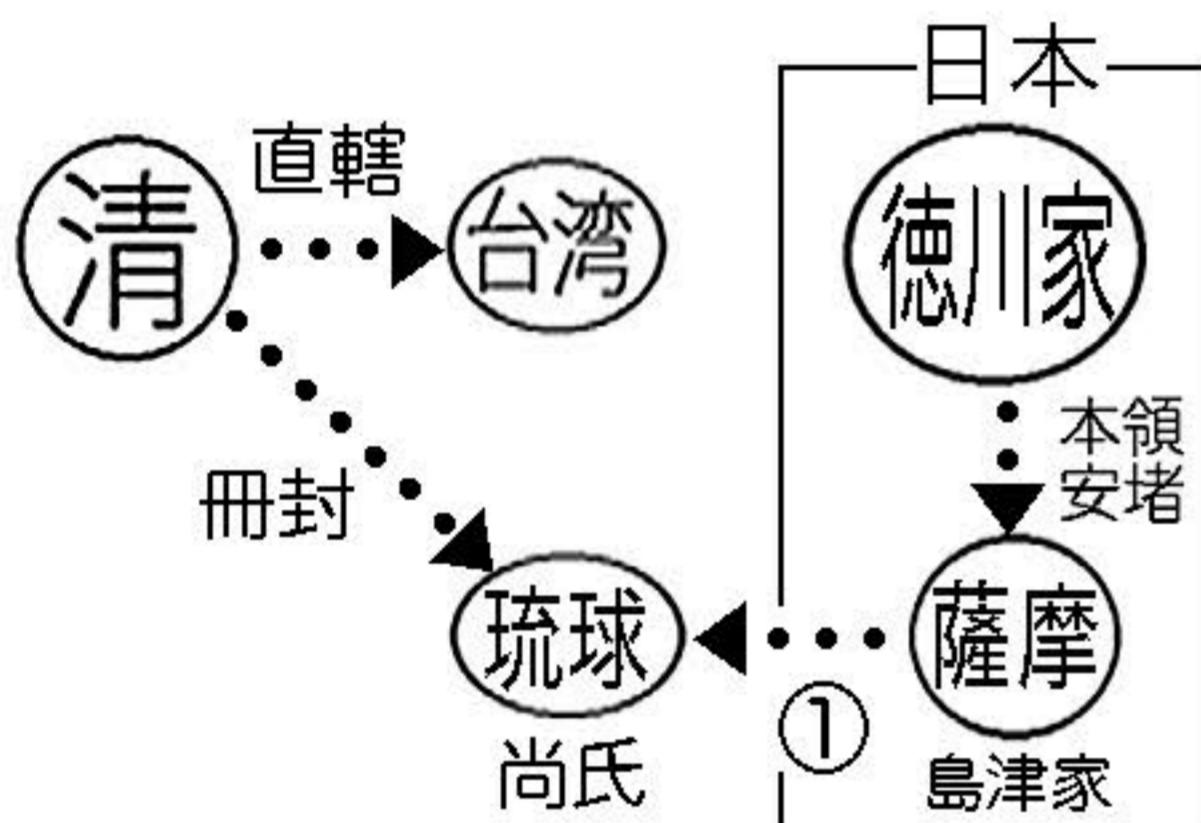
⑤ 北京 ⑦ 日清修好 ⑧ 江華島 日朝修好

## 近代の東アジア

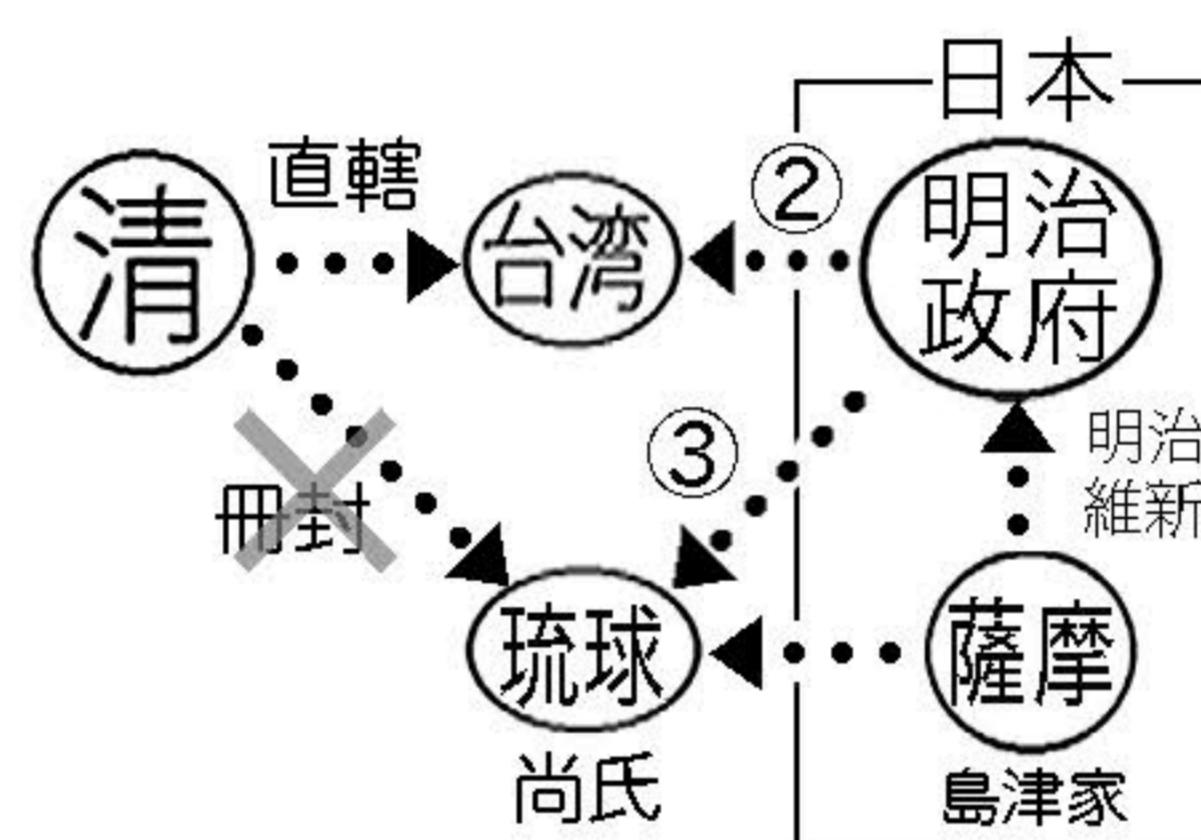


- ⑤ \_\_\_\_\_条約(1860)  
 ⑥ 明治維新(68)  
 ⑦ \_\_\_\_\_条規(71)  
 ⑧ \_\_\_\_\_事件(75) ⇒ \_\_\_\_\_条規(76)

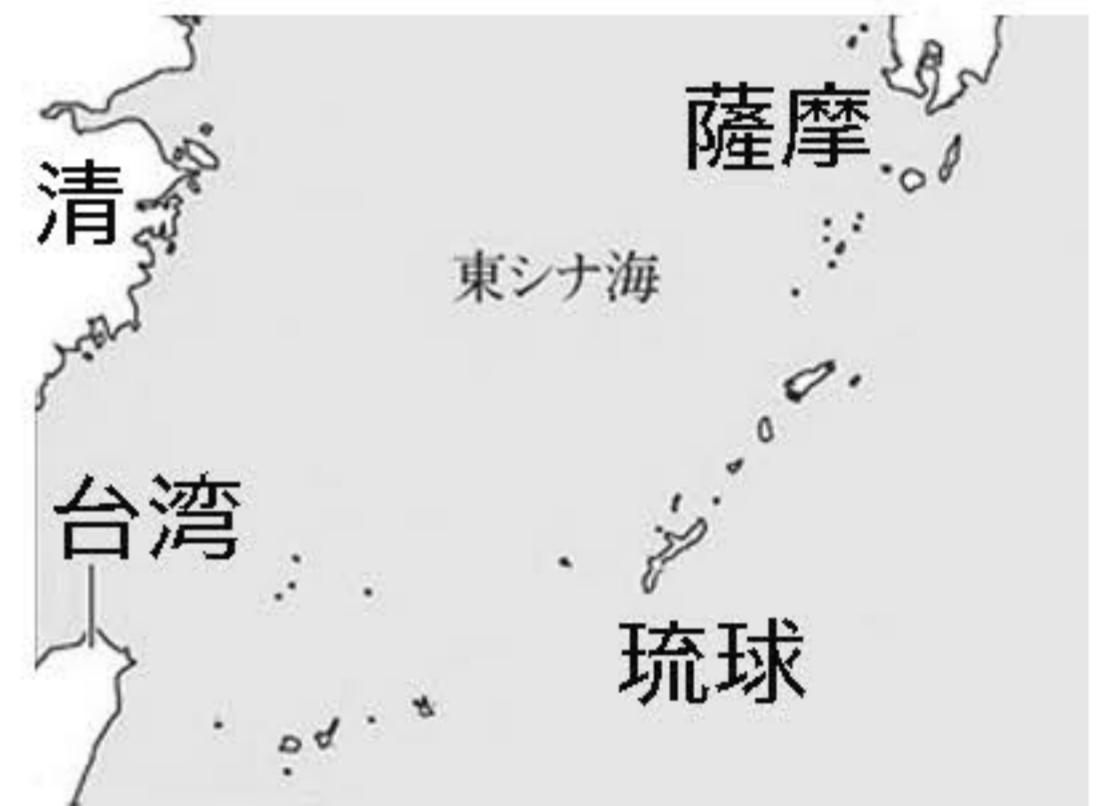
## 琉球王国を巡る対立



- ① 薩摩の琉球侵攻(1609)  
 ⇒ 琉球は、明・清と薩摩に両属



- ② 台湾出兵(1874)  
 : 琉球漂流民殺害事件への報復  
 ③ 琉球処分(1879)  
 : 琉球王朝を廃し、沖縄県を設置



日朝修好条規

### 日朝修好条規(1875)

- 朝鮮国は、自主の邦にして、日本国と平等の権を保有せり。
- 日本国人民、朝鮮国指定の各口に在留中、もし罪科を犯し、朝鮮国人民に交渉する事件は、すべて日本国官員の審断に帰すべし。

### 下関条約(1895)

- 清国は、朝鮮国の完全無欠なる独立自主の國たることを確認す。…独立自主を損害すべき朝鮮国より清国に対する貢献典礼等は、将来全く之を廢止すべし。

### ポーツマス条約(1905)

- ロシア帝国政府は、日本国が韓国において政治上、軍事上及び経済上の卓絶なる利益を有することを承認し、日本帝国政府が韓国において…指導、保護及び監理の措置を執るにあたり、これを阻害しまたはこれに干渉せざることを約す。

### 第2次日韓協約(1905)

- 日本国政府は、その代表者として韓国皇帝陛下の闕下に1名の統監を置く。統監は、専ら外交に関する事項を管理する為、京城に駐在し親しく韓国皇帝陛下に内謁する権利を有す。

### 韓国併合条約(1910)

- 韓国皇帝陛下は、韓国全部に関する一切の統治権を完全かつ永久に日本国皇帝陛下に譲与す。
- 日本国皇帝陛下は…譲与を受諾し、かつ全然韓国を日本帝国に併合することを承諾す。



▲迎恩門…ソウル郊外。明・清の勅使を朝鮮国王が迎えた。



▲独立門…下関条約で清から独立後、開化派政権が建設。

## 日本の近代化と朝鮮

☆李氏朝鮮：清朝の藩属国。朱子学が官学。☆日本：徳川家が300諸侯を支配。

ヤンバン  
国王專制、官僚（両班）国家。

・高宗：鎖国派の摂政<sup>8</sup>が実権。

⇒明治政府の国書を無礼として拒否。

73 開国派の外戚<sup>9</sup>が大院君追放。

75 <sup>10</sup>事件：日本が出兵。 ←

⇒<sup>11</sup>条規：不平等条約。

（①日本の領事裁判権、朝鮮の無関税。

②釜山など3港を開港（⇒元山、仁川）

82 壬午軍乱：大院君のクーデタを清朝が鎮圧。

（・<sup>12</sup>党：閔氏政権。親清派。

・<sup>13</sup>派：親日派の官僚。独立党。

<sup>14</sup>・朴泳孝。

84 <sup>15</sup>政変：開化派のクーデタ ⇒清朝が再出兵。金・朴は日本へ亡命。

85 <sup>16</sup>条約：日清は朝鮮から撤兵。再出兵時には事前通告。

94 <sup>17</sup>農民戦争：東学の指導者<sup>18</sup>が率いる大農民反乱。

94- 日清戦争：清朝は閔氏の要請により、日本は居留民保護を口実に出兵。

⇒下関条約（95）：清朝は朝鮮の独立を承認 ⇒開化派政権による甲午改革：両班の廃止。

⇒三国干渉で挫折 ⇒閔妃殺害事件：日本公使、日本軍・警察、朝鮮軍の一部が関与。

⇒高宗は大韓帝国と改称（97）、ロシア公使館に保護を求める。

04- 日露戦争 ⇒第1次日韓協約（04）：韓国政府に日本人の財政・外交顧問をおく。

⇒ポーツマス条約（05）：日本の韓国保護権をロシアが承認。

05 <sup>19</sup>日韓協約（乙巳保護条約）：統監<sup>20</sup>。外交権を奪う。

07 <sup>21</sup>事件：高宗が万国平和会議に提訴 ⇒伊藤は、高宗を退位させる。

・純宗：第3次日韓協約（07）：韓国統監が内政権を完全に握る。韓国軍隊も解散。

⇒<sup>22</sup>鬭争の激化 ⇒<sup>23</sup>がハルビン駅で伊藤博文を暗殺（09）。

10 <sup>24</sup>条約：純宗が明治天皇に統治権を譲与。李氏朝鮮（1392-）滅亡。

⇒日本は<sup>25</sup>を設置。初代総督<sup>26</sup>（陸軍大将）。

14-18 第一次世界大戦 ⇒米大統領威尔ソン、“十四か条”で民族自決を提唱。

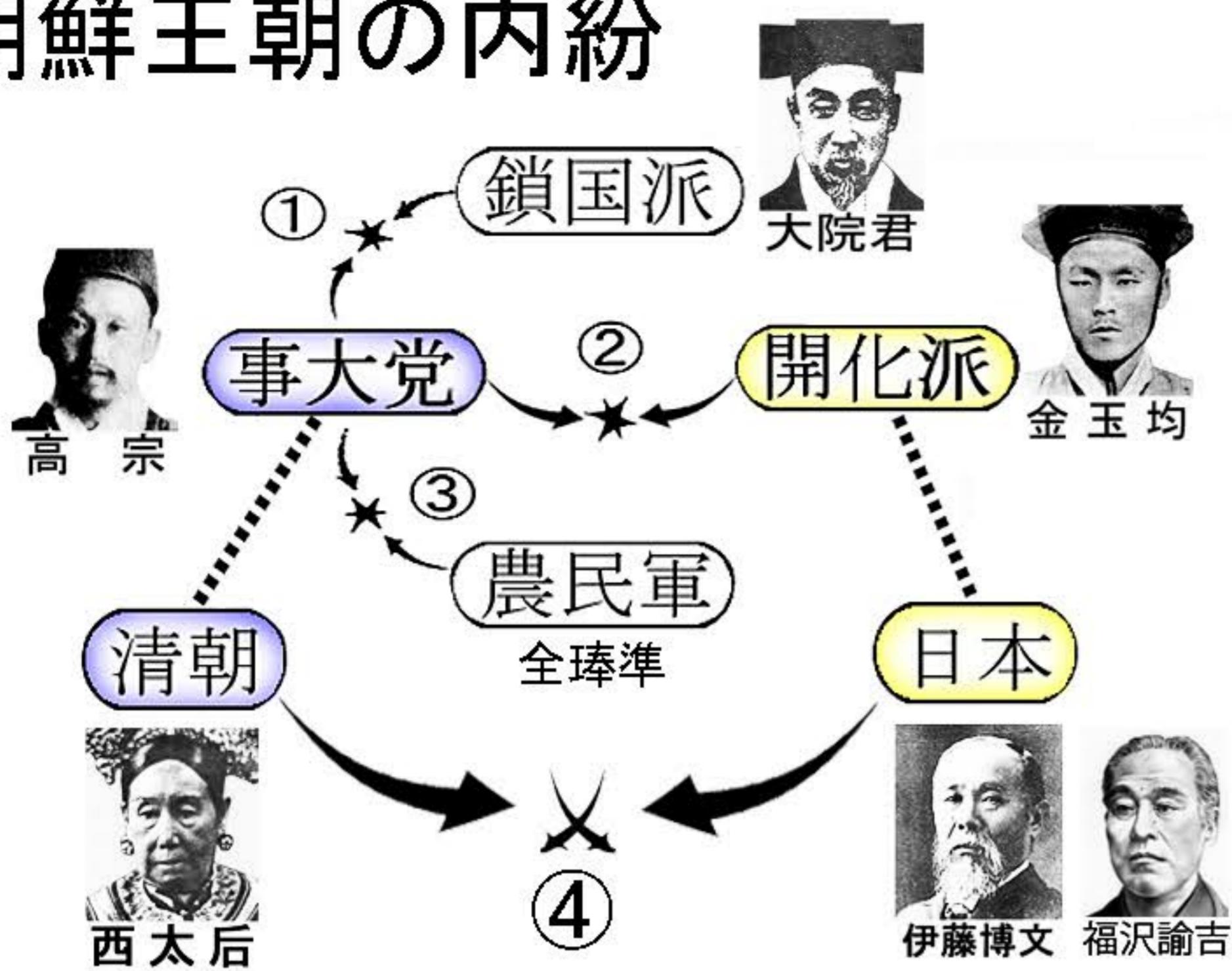
19 <sup>27</sup>運動：ソウルで知識人が独立宣言 ⇒全土で反日デモ。日本軍が鎮圧。

（解答）1ペリー 2明治維新 3日清修好 4台湾 5琉球 6沖縄 7大日本帝国 8大院君 9閔氏（閔妃）

10江華島 11日朝修好 12事大 13開化 14金玉均 15甲申 16天津 17甲午 18全琫準 19第2次

20伊藤博文 21ハーグ密使 22反日義兵 23安重根 24韓国併合 25朝鮮総督府 26寺内正毅 27三・一

# 朝鮮王朝の内紛



① 軍乱(1882)

② 政変(1884)

③ 農民戦争(1894)

④ 日清戦争(1894-95)

① 壬午

② 甲申

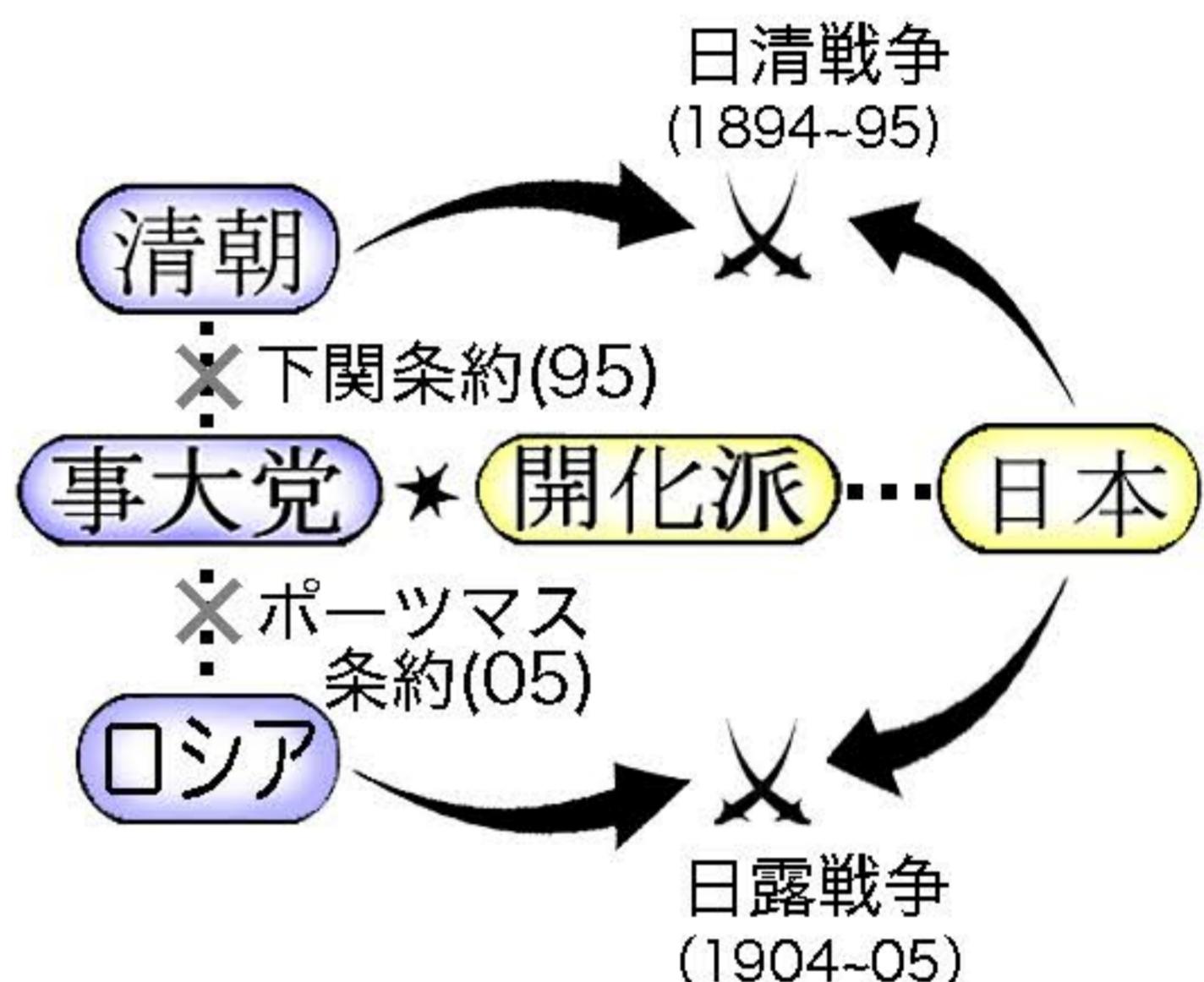
③ 甲午

日清戦争直前までの朝鮮の近代化について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。  
江華島 甲申政変



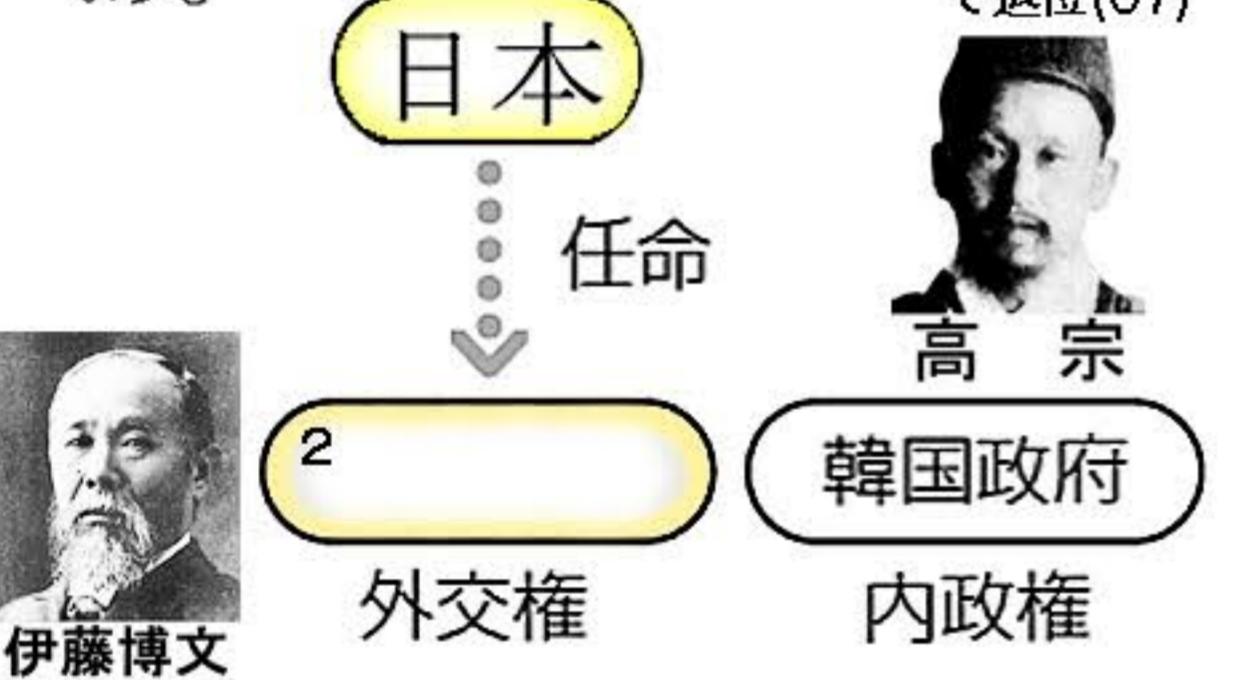
解説動画  
保護国化  
まで

福沢諭吉「脱亜論」（『時事新報』1885.3.16）  
我日本の国土は亜細亜の東邊にありといへども、その国民の精神はすでに亜細亜の固陋を脱して、西洋の文明に移りたり。然るにここに不幸なるは隣国あり。一つを支那といひ、一つを朝鮮といふ。…この二国の者共は一身に就き、また一国に関して改新の道を知らず。…今の支那朝鮮は我日本のために一毫の援助とならざるのみ…我国は隣国の開明を待ちて共に亜細亜を起こすの猶予あるべからず。むしろその伍を脱して西洋の文明国と進退を共にし、その支那朝鮮に接するの方も隣国なるが故にとて特別の会釈に及ばず。まさに西洋人がこれに接するの風に従いて処分すべきのみ。悪友を親しむものは共に悪友を免かる可からず。我は心において亜細亜東方の悪友を謝絶するものなり。



1 協約

(乙巳保護条約 1905)  
いつし



3 条約(1910)



1 第2次日韓

2 統監

3 韓国併合

4 朝鮮総督

日清戦争から韓国併合までの経緯について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。  
下関条約 閔妃暗殺  
安重根



解説動画  
併合まで



▲ 伊藤統監と韓国皇太子  
(純宗の異母弟・李垠)



安重根『東洋平和論』(1910年2月 獄中にて)

東海の小さな島国日本が、強大国ロシアを満州で叩き伏せた。誰にも想像できなかつたことだ…  
韓国、清国の国民は日本に反対せず、むしろ日本軍を歓迎し、荷を運び、情報を伝えて手伝つた。…  
日露開戦時、日本の天皇は東洋平和を維持し、大韓の独立を固めるためだと言つた。…  
愉快痛快、数百年來、悪事を繰り返してきた白人を、日本が一気に打ち破つた。まことに驚くべき、記念すべきことである。…  
悲しい。意外にも日本が勝利したのち…韓国を力で抑えつけ、強制で条約を結び、満州の長春を、借りるという名目で占領してから、世界の人々は疑心を抱くようになった。…日本が今の政策を変えず、隣国をますます抑えつければ、「他の人種には滅ぼされようとも、同じ人種からの辱めは受けない」との考えが、韓国と清国の人々の心に生まれ、皆が団結して白人の手先となることは火を見るより明らかだ。

## 日本統治下の朝鮮

①<sup>1</sup> 政治(1910-)…朝鮮総督が憲兵隊(軍隊警察)を通じ、言論・集会・結社を制限。

・<sup>2</sup> 事業…近代的土地所有権の確立。無主地を没収、地主に払い下げ。

1914-18 第一次大戦⇒米大統領<sup>3</sup> が十四ヶ条で民族自決を提唱。

1919 <sup>4</sup> 運動…高宗の葬儀を機に、大規模な独立運動。日本軍が鎮圧。

⇒上海で大韓民国臨時政府が発足…李承晩・金九ら亡命朝鮮人が中心。

⇒満州ではソ連と結ぶ朝鮮人ゲリラ(抗日パルチザン)が活動を続ける。

②<sup>5</sup> 政治(1919-)…融和政策。言論・出版の制限を緩め、朝鮮人官吏を登用。

・『朝鮮日報』(1920)、『東亜日報』(1920)など民族系新聞の創刊。

・京城帝国大学(現ソウル大学)創設(1923)。公教育の普及、全国に小学校を建設。

・総督が任命する道知事の4割、警察官の6割、郡守・邑長(村長)の大半が朝鮮人。

・一定の地方自治を認め、道議会を設置(1931)。制限選挙で道議員の8割が朝鮮人。

・インフラ整備…京釜線・京義線(1905)などの鉄道、水豊ダム(1944)など発電施設。

③<sup>6</sup> 政策…日中戦争勃発(1937)により、戦時体制へ移行。

・天皇崇拜、神社崇拜、「帝国臣民の誓詞」の強制。

・国語(日本語)常用運動(37-)、ハングル教育の廃止、民族系新聞の廃刊。

・<sup>7</sup> (39)…宗族(男系血縁集団)に代わり、日本式戸籍制度(「家」制度)を導入。

⇒創氏(家名の届け出)は義務、改名は任意。届け出なき場合は宗族名を家名として登録。

・志願兵制の導入(38)…軍人・軍属として従軍を認める。日本軍の士官になった者も。

1941 日米開戦⇒44-45 徴兵制の実施。戦地へ派遣される前に終戦となる。

・<sup>8</sup> 令の適用(44-45)…日本本土では1938年から実施。

⇒朝鮮人労働者を徴用し、日本本土の労働力不足を補う。韓国は「強制連行」と主張。

・慰安婦…公娼制度(公認された売春制度)のもと、戦地に派遣される。大半は日本人女性。

貧困ゆえ親に売られ、斡旋業者に騙された例も。韓国は「強制連行の性奴隸」と主張。

1945 日本敗戦。38度線以南に米軍、以北にソ連軍が進駐。

### ☆慰安婦問題

日本軍は兵士の性犯罪防止と性病予防のため戦地に慰安所(売春宿)を設置した。経営と慰安婦(売春婦)募集は民間業者に委託し、軍は警備と衛生管理を担当した。慰安婦には給与が支払われ、高給を稼ぐ慰安婦もいた。

日韓基本条約(1965)で、日本は5億ドルの対韓経済支援を実施、韓国は賠償請求権を放棄したが、慰安婦問題は提起されなかった。

1990年代、「元慰安婦」が名乗り出た。韓国は「日本軍による慰安婦強制連行」を非難し、外交問題となる。宮澤内閣の河野洋平官房長官が、「軍の関与の下、多数の女性の名誉の名譽と尊厳を深く傷つけたことに、心からのお詫びと反省」を表明した(河野談話)。2015年、安倍晋三政権と朴槿恵政権との間で「日韓慰安婦合意」が成立。日本は元慰安婦支援財団に10億円を支払い、韓国は慰安婦問題の最終的、不可逆的解決を認めた。

# 日本統治下の朝鮮(1910-45)

ソウル 南大門通り



併合前(1890年代)



併合後(1930年代)

鴨緑江の水豊ダム



## 初等教育

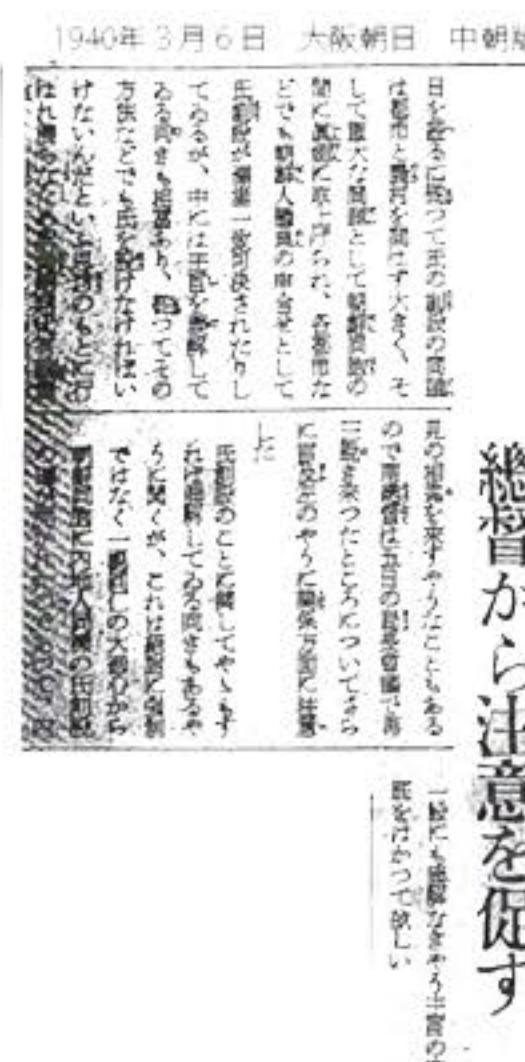


文盲を掃蕩

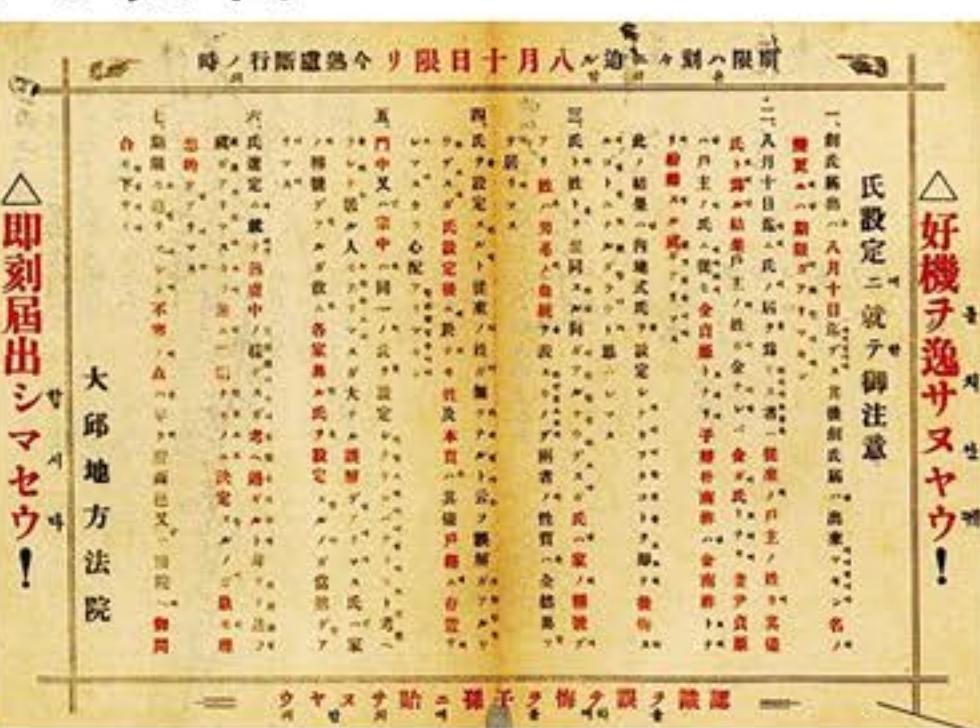
全鮮的に大運動起す

イ・ヨル

## 創氏改名

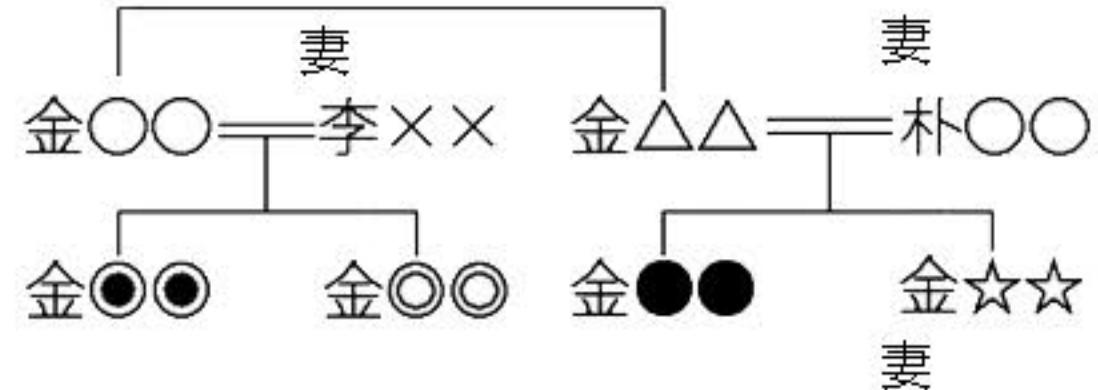


氏の創設は自由  
強制と誤解するな  
総督から注意を促す



## 創氏改名の例

○○金氏



解説動画  
併合時代

## 高等教育



▲京城帝国大学(現ソウル大学)

6番目の帝国大学として創建(1924)。  
法文学部・医学部・理工学部があり、  
朝鮮人と日本人がともに学んだ。



▲朝鮮総督府…日本統治の象徴。  
韓国独立(1948)後、中央博物館に。  
1995年に解体、景福宮を復元した。

## 朝鮮の人口

1904	720万人
1910	1,313万人
1919	1,678万人
1929	1,878万人
1937	2,168万人
1942	2,553万人

## 朝鮮人志願兵

志願者	合格者
1938	2,946人
1940	84,443人
1942	254,278人
1943	303,394人
	406人
	3,060人
	4,077人
	6,300人

## 朴正熙の血書



▲朴正熙は志願して満州軍に配属。戦後は、  
韓国軍の創設に参加、のち大統領となった。